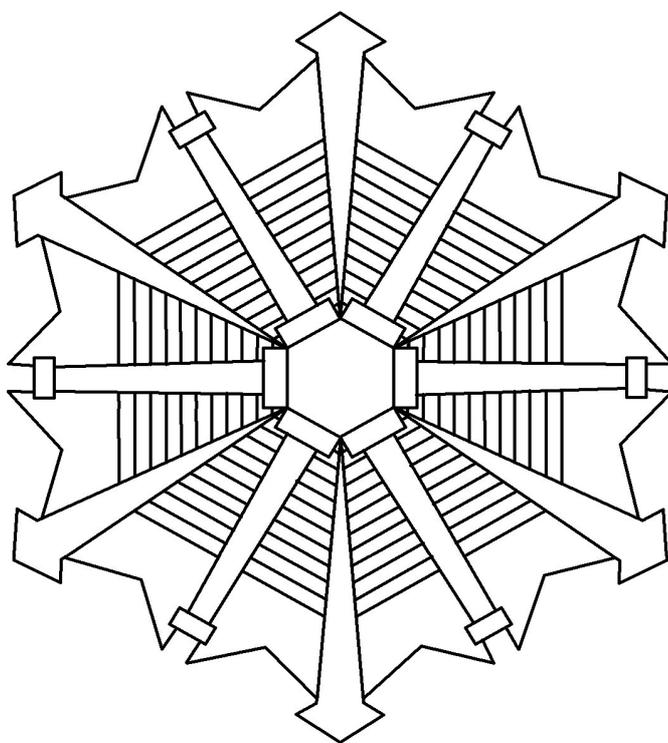


消 防 年 報

令和 5 年版



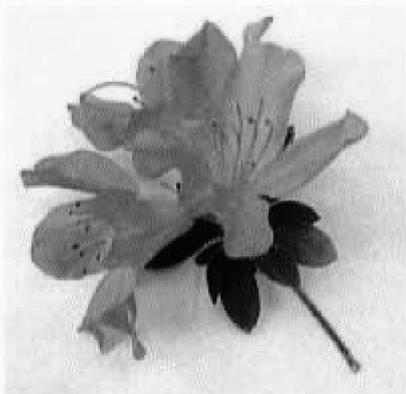
葉山町消防本部

町章



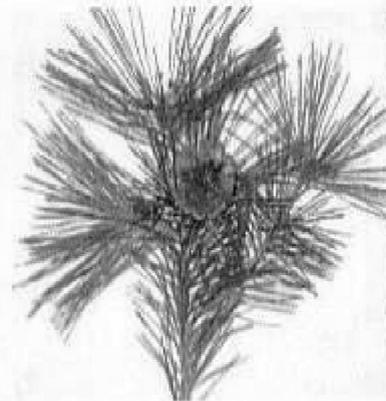
町の花

つつじ



町の木

くろまつ



町の鳥

うぐいす



ま え が き

この年報は、令和4年中（一部令和4年度等）における葉山町の消防現勢や実態を収録し、今後の消防行政の参考に資すると共に、消防に対する関心と認識を深めていただくことを目的として編集したものです。

なお、気象統計は葉山町消防署の観測によるものです。

令和5年10月

葉山町消防本部

目 次

【報告編】

第1章 消防・救助活動について

火災の状況	1
救助の状況	1
災害への出場状況	2
救急支援出場及び救命活動	2
消火活動及び救助活動体制の強化	3
緊急消防援助隊の派遣	3

第2章 多様化する災害への対応について

車両整備状況	4
消防水利	4
NBC災害への対応	5

第3章 救急活動について

救急業務の実施状況	5
救急業務高度化の推進	6
応急手当の普及啓発	7

第4章 通信指令業務について

消防指令センター	8
119番通報受信状況	8
ファクスからの119番通報	9
インターネットを利用した通報	9
町民への災害発生情報の提供	10

第5章 予防行政について

火災予防広報関係	10
防火対象物関係	11

危険物関係	11
住宅防火対策の推進	12

第6章 消防団の活動について

葉山町消防団の紹介	13
消防団の主な活動	13
令和4年度に実施した主な活動	13
消防団員の募集	14
消防団協力事業所表示制度	14
葉山町学生消防団活動認証制度	14

【資料編】

葉山町消防本部・葉山町消防団のあゆみ	16
--------------------------	----

町勢

位置	35
面積・人口・世帯数	36
地区別情勢	36
人口の推移	37

消防情勢

消防本部・署・団設置	38
消防本部・署機構図	38
消防本部事務分掌	39
消防署事務分掌	40
消防本部・署・団情勢調	42
消防本部・署・団車両等	42
消防本部・団本部署所配置図	43

庶務関係

消防予算額	44
町予算と消防予算の比	44

消防費と人口・世帯の比	44
消防職員定員・実員	45
消防職員年齢	45
消防職員勤続年数	45
教育実施状況	46
特殊技能資格者	47

警防関係

火災概況	48
出火原因別火災発生状況	48
火災発生状況	49
火災覚知方法時間別状況	50
地区別火災発生状況	51
時間別火災発生状況	52
消防署の消防車両等の出場状況	53
令和4年中出場件数	54
過去5年間の山中救助出場件数	55
年別所要時間別山中救助(覚知～救出完了)件数	55
消防本部・署現有車両機械	56
警防用機器資材	57
消防水利現勢	59
空地の枯草繁茂状況及び刈取り状況調査結果	60
過去3年間の枯草繁茂状況	60

指令関係

町の通信施設	61
消防通信システム系統図	62
消防指令センター・消防本部・消防署回線	63
消防指令センター・消防本部・消防署通信機器	64
無線局配置状況	65
防災行政無線システム構成図	66
防災通信機器等	67

消防団通信機器等	69
119番着信件数(固定・IP電話)	70
119番着信件数(携帯電話)	70
NET119を利用しての通報件数	70
NET119登録者数	70

気象関係

月別気象調	71
風向頻度調	72

予防関係

防火対象物・防火管理者選任状況	73
3階建て以上防火対象物状況	74
防火対象物届出状況	75
その他届出状況	76
危険物関係届出状況	77
火災予防査察実施状況	78
危険物施設状況	79
地区別危険物施設状況	80
地区別危険物貯蔵取扱状況	80
危険物施設許認可処理状況	81
用途別建築同意等事務処理状況	82
地区別消防同意・確認通知・計画通知状況	83
過去5年間の消防同意・確認通知・計画通知状況	83

救急関係

救急概況	84
町内外在住別搬送人員状況	84
傷病程度別搬送人員状況	84
発生日別状況	84
救急救命士資格者及び再教育実施状況	84
救急出場・搬送人員状況	85

月別救急出場・搬送人員状況	86
過去5年間の救急出場・搬送人員状況	87
過去5年間の救急出場・搬送人員状況の推移	87
町内外在住別救急搬送人員状況	88
時間別救急出場状況	88
曜日別救急出場状況	89
覚知別救急出場状況	89
地区別救急出場状況	89
年齢区分・傷病程度別救急搬送人員状況	90
救急隊員の行った応急処置	91
収容状況	92
医療機関紹介状況	92
応急手当普及啓発活動実施状況	92

救助関係

救助概況	93
救助出場人員・活動人員状況	93
発生場所別救助人員状況	93
救助出場車両・活動車両状況	94
発生場所別救助出場(活動)状況	94
時間別救助出場(活動)状況	95
地区別救助出場状況	95

消防団関係

消防団組織図	96
消防団員定員・実員	96
消防団員報酬	96
消防団員出動費用弁償	96
消防団詰所所在地	97
消防団員配置	97
消防団員年齢	98
消防団員勤続年数	99

消防団出場状況	99
消防団現有車両機械	100
消防団備品配置	101

報 告 編

第1章 消防・救助活動について

1 火災の状況

- 火災件数

令和4年中の火災発生件数は3件です。

火災種別ごとに見てみると、建物火災3件で、その他の火災、車両火災、林野火災、船舶火災、航空機火災の発生はありません。

- 建物焼損面積と火災損害額

令和4年中の建物火災による焼損面積は81.2 m²、損害額は4,135千円です。

- 出火原因

令和4年中の出火原因は、余熱で発火する、金属の接触部が過熱する、不明となっています。

- 火災による死傷者

令和4年中の火災による死者、負傷者は、発生していません。

2 救助の状況

- 救助出場について

令和4年中の救助出場件数は22件で、そのうち19人を救出しています。

内訳は、表1のとおりです。

(令和4年中)

	出場件数 (件)	救出人員 (人)
火 災	2	0
交 通 事 故	1	0
水 難 事 故	7	8
建 物 等 に よ る 事 故	5	3
そ の 他 の 事 故	7	8
合 計	22	19

表1 救助出場件数及び救出人員内訳

※その他の事故については、山中での救助3件等となっています。

3 災害への出場状況

● 消防隊の活動について

令和4年中の消防隊（ポンプ隊）は、火災や救助出場のほかに、救急支援出場（傷病者の搬送支援や救命活動といった救急隊の活動を支援する）等、さまざまな災害に出場しています。

種別ごとの出場状況は表2のとおりです。

（令和4年中）

内 訳	出場件数 (件)	出場人員 (人)	出場車両 (台)
火 災	4	87	19
救 助	22	258	81
危 険 排 除	10	68	25
偵 察	17	84	35
調 査	1	4	2
救 急 支 援 出 場	136	639	258
そ の 他	0	0	0

表2 消防隊等出場状況

※火災及び救助出場にあつては、他市消防（局）本部、消防団の出場人員、車両を含みます。

4 救急支援出場及び救命活動

救急支援出場とは、ポンプ隊等と救急隊が連携して傷病者の搬送、救護処置を迅速かつ確実に行う行動をより充実させ、心肺機能が停止した傷病者に対して多くの救急資器材を必要とする高度な救命処置を行う場合や、階段・通路等が狭いために傷病者の搬送が難しい場合等、救急隊員のみでは対応が困難な事態に備えるため、119番通報の内容から必要と認められる場合には、救急車に加えてポンプ車等の消防車両を同時に出場させ、救急隊とポンプ隊等とが連携した救急活動を行うものです。

令和4年中の救急支援出場種別ごとの件数は、救命88件、特定48件となっています。

救急支援出場の出場基準は、次のとおりです。

● 救命

(1) 119番通報の内容から心肺機能停止状態が予想される等、迅速な救命処置等が必要な場合。

(2) 救急隊現場到着時に心肺機能停止状態であり、迅速な救命処置が必要な場合。

● 特定

(1) 中高層マンションや海水浴場等、救急隊員のみでは対応が困難な場合。

(2) 幹線道路での活動で、傷病者や救急隊員等の安全を確保する必要がある場合。

(3) 救急隊の到着が遅延する場合。

5 消火活動及び救助活動体制の強化

近年の複雑多様化する消防活動の困難性や危険性の増大に対し、消火・救助活動体制を強化するため、平成 24 年度から大型照明・クレーンを装備した救助工作車を運用しています。また、平成 27 年度からは、CAFS 付消防ポンプ自動車の運用を開始し、令和 3 年度には 2 台目の運用も開始しています。

※CAFS とは「Compressed Air Foam System」の略で、日本語に訳すと、「圧縮空気泡消火装置」となります。これは水に少量の消火薬剤を加え、そこへ圧縮空気を送り込むことにより発砲させる装置で、水の表面積を広げることで効率よく消火することができます。

救助活動現場も都市型へと変化し、特殊災害や自然災害への対応も必要不可欠となっています。装備の充実や隊員の育成が求められており、消防学校や各種教育機関へ隊員を派遣し、年間を通して実践的な訓練を計画的に行っています。

また、広域化する災害に対しては、他機関と合同での活動が必要不可欠であり、災害の規模や状況に応じた的確な活動が要求されています。

水難事故においても、初動体制の充実が重要になり、早期に活動できるよう平成 22 年度から水難救助活動資機材を配備し、海水浴シーズンは海上警備を行っています。

水難救助艇（訓練風景）



6 緊急消防援助隊の派遣

緊急消防援助隊は、阪神・淡路大震災での教訓（人命救助活動等を行う応援部隊の早期出動の必要性等）を踏まえて平成 7 年に創設された全国的な消防応援活動の制度です。なお、当町から 4 人の消防職員を派遣しています。被災地の消防力では対応困難な大規模災害や特殊災害等の発生に際して、消防庁長官の出動の求め又は指示により出動し、現地で消火活動や救助活動等を行うもので、近年では、平成 23 年 3 月 11 日に発生した東日本大震災では宮城県仙台市へ当町から 10 人の消防職員を、令和 3 年 7 月 3 日に発生した土石流災害では静岡県熱海市へ 7 人の消防職員を派遣しています。

第2章 多様化する災害への対応について

1 車両整備状況

当町では、火災の予防や警戒、鎮圧、救急業務や人命救助等の災害に備え、人口や地勢等の実情を勘案し、必要な車両を配備しています。

令和5.4.1現在

車種	台数
指揮車	1
消防ポンプ自動車	2
救助工作車	1
高規格救急自動車	2
非常用救急自動車	1
機動積載車	1
機動車	1
資材搬送車	2
二輪車	2
総数	13



消防ポンプ自動車

2 消防水利

消防水利は、消火活動を行う上で、なくてはならないもので、その種類には、消火栓や防火水槽、河川、池、プール、井戸等があります。

これらの配置等は国の基準である「消防水利の基準」で定められており、最も活用されているのは、消火栓と防火水槽です。

- 消火栓は水道配管に取付けられているもので、町内に450基(令和5年4月1日現在、私設含む)を道路歩道上等に設置しています。
- 防火水槽は町内に163基(令和5年4月1日現在、私設含む)を設置しています。水道の断水・減水時や大地震時に消火栓が使用できないときの備えとして整備し、現在では、耐震性防火水槽の整備に努めています。

3 NBC災害への対応

NBC災害とは放射性物質（Nuclear）、生物剤（Biological）、化学剤（Chemical）による特殊災害のことをいいます。この特殊災害に対応するため、NBC対応資機材を保有しています。

令和5.4.1現在

対 応 資 機 材	個 数
有 毒 ガ ス 測 定 器	1
複 合 型 ガ ス 測 定 器	3
放 射 線 測 定 器	3
個 人 用 線 量 計	17
放 射 線 防 護 服	5
陽 圧 式 化 学 防 護 服	2
化 学 防 護 服	39

保有NBC対応資機材

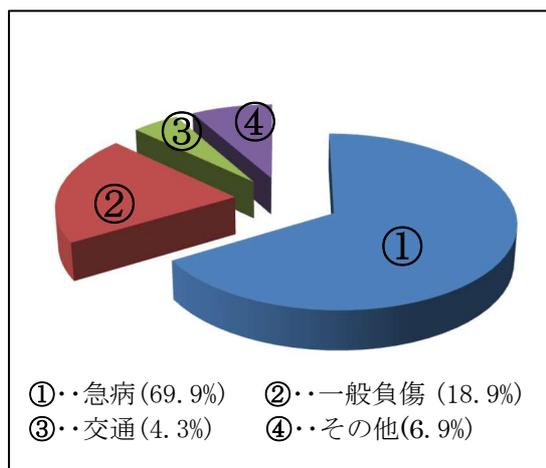
第3章 救急活動について

1 救急業務の実施状況

● 救急出場の状況

令和4年中の救急自動車による救急出場件数は1,696件、搬送人員は1,589人となっており、町民の21人に1人が救急隊によって搬送されたこととなります。

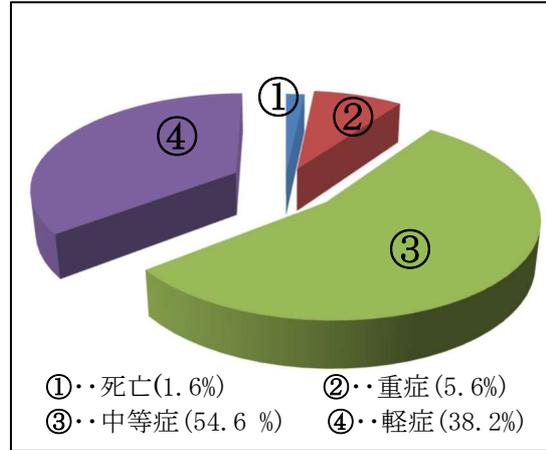
事故種別ごとにみると、搬送人員数が上位のものは、急病1,110人（69.9%）、一般負傷300人（18.9%）、交通69人（4.3%）となっています。



事故種別ごとにみる搬送人員の状況

● 傷病程度別搬送人員の状況

令和4年中の救急自動車による搬送人員1,589人のうち、死亡26人(1.6%)、重症89人(5.6%)、中等症867人(54.6%)、入院加療を必要としない軽症607人(38.2%)となっています。



傷病程度別搬送人員の状況

2 救急業務高度化の推進

● 救急救命士の処置範囲の拡大

(1) 除細動

平成3年の救急救命士法の施行により、医師の具体的指示の下に救急救命士が行っていた除細動は、平成15年4月から医師の包括的指示の下で行うことが可能となっています。

※包括的指示とは、専門医師に救急救命士が行う救命処置に対する指示、救急隊員への指導、助言体制等をいう。

(2) 気管挿管

平成16年7月から一定の講習と病院実習を修了し、認定を受けた救急救命士に認められています。更に平成23年8月から追加講習と病院実習を修了した救急救命士は、気管内チューブによる気道確保の安全性や確実性が高まるビデオ硬性挿管用喉頭鏡の使用が可能となっています。

(3) 薬剤投与

平成18年4月から一定の講習と病院実習を修了し、認定を受けた救急救命士に認められています。平成21年3月からアナフィラキシーショックによって生命が危険な状態にある傷病者が、あらかじめ自己注射が可能なアドレナリン製剤(エピペン)を処方されている者であった場合には、救急救命士がアドレナリン製剤(エピペン)を投与することが可能となっています。

(4) 心肺機能停止前の静脈路確保、輸液、血糖測定、ブドウ糖溶液の投与

平成26年4月から一定の講習を受講し、認定を受けた救急救命士に認められています。三浦半島地区では平成27年10月1日から運用が開始されています。

● メディカルコントロール体制の充実

メディカルコントロール体制とは、医学的観点から救急救命士を含む救急隊員が行う応急処置等の質を保証する仕組みをいい、三浦半島地区（横須賀市、鎌倉市、逗子市、三浦市、葉山町）の医療機関と消防機関とが連携強化を図る体制が構築されています。

主な体制としては、次のとおりです。

- (1) 救急救命士を含む救急隊員の行う応急処置に対しての医師の常時指示、指導、助言体制。
- (2) 医師によって医学的観点から検証が行われ、反映されるための事後検証体制。
- (3) 救急救命士が行う高度な救命処置等を再教育するための病院実習。
- (4) 救急救命士の処置範囲拡大に伴う講習と実習。

3 応急手当の普及啓発

救急要請から救急隊が現場に到着するまでに要した時間は、令和4年中の平均では8.7分であり、この間に救急現場に居合わせた人による応急手当が適切に行われることで、大きな救命効果が期待されます。

当町でも救命講習の普及啓発を推進しており、実習を中心とした基本的な心肺蘇生法やAEDの安全な使用方法等について講習を行い、受講者には修了証を交付しています。講習会は、「広報はやま」等の広報誌で受講者の募集を行っています。

また、規定の講習以外にも、要望に応じた「その他の救急講習」を行っています。



救急講習会

第4章 通信指令業務について

1 消防指令センター



横須賀市・葉山町消防指令センター

火災や救助、救急等の出場は、そのほとんどが町民等からの119番通報から始まります。

当町は、平成27年4月1日から横須賀市と共同で119番通報の受付、消防車・救急車の出場指令を行う「消防通信指令事務の共同運用」に参画しています。

消防指令システムでは、119番通報を受信すると、統合型位置情報システムと地図等検索装置によって瞬時にその通報場所の地図を表示し、災害種別の決定と同時に予告指令を行い、災害通報を受信中であることを消防署に通知して出場準備を促します。

また、全ての車両の位置等を常時把握しており、災害現場に最も早く到着できる車両を自動的に編成し、消防署へ出場指令の放送と指令書を送信します。

各車両に搭載している車両運用端末装置には、出場指令と同時に災害現場の地図と指令情報を表示させ、活動中に防火対象物や危険物、水利、災害時要援護者等の支援情報を表示し、消防隊・救急隊は、これらの情報を活用して的確な現場活動を行っています。

2 119番通報受信状況

令和4年中の町内からの119番通報は2,451件あり、1日平均約7件、約214分に1件の割合で119番を受信しています。

そのうち、固定電話（NTT東日本）からの通報は368件（15%）、IP電話（NTT以外の有線電気通信）からの通報は850件（35%）、携帯電話からの通報は1,233件（50%）となっており、固定電話、IP電話を合わせた有線電話が50%となっています。

受信内容は、火災や救助、救急等の緊急性のある通報が1,777件で73%を占めています
が、病院等の問い合わせや、いたずら、間違い・無言等の緊急性のない通報（訓練・試験
を除く）が507件で21%を占めていることから、適切な119番通報を心がけるよう呼びか
けています。

119番通報受信状況

令和4年中

		119番全体	固定電話	I P電話	携帯電話
緊急性あり	火災	6	1	2	3
	救急	1,679	188	703	788
	救助	10	1	0	9
	その他災害	23	8	6	9
	他都市転送	59	0	4	55
	小計	1,777	198	715	864
緊急性なし	問い合わせ	145	11	40	94
	いたずら	4	2	1	1
	間違い、無言	115	11	18	86
	その他	243	28	57	158
	小計	507	52	116	339
その他	訓練	109	64	19	26
	試験	58	54	0	4
	小計	167	118	19	30
合計		2,451	368	850	1,233

3 ファクスからの119番通報

耳や言葉の不自由な方から、火災や救助、救急等の出場要請を受信するため、119番専用回線によるファクス通報を運用しています。更に平成27年4月1日から位置情報通知システムを活用し、より迅速な対応を図っています。

4 インターネットを利用した通報

平成26年7月1日から聴覚障害がある方や音声による緊急通報が困難な方が、携帯電話やスマートフォンで緊急通報を行うことができる「Web（ウェブ）119サービス」の運用を開始し、平成29年12月からは「NET（ネット）119サービス」に移行し運用しています。

このサービスは、事前登録した携帯電話やスマートフォンから、簡単なボタン操作でGPSによる位置情報を付加した緊急通報を行うことができ、その通報は、消防指令センターで受信します。

消防指令センターと通報者が文字で対話する機能（チャット機能）を使用し、通報場所の特定や状況の把握をより詳細に行うことができます。

5 町民への災害発生情報の提供

消防指令センターでは、消防車がサイレンを吹鳴して緊急走行する災害事案について、災害発生場所や活動状況等を消防本部テレホンガイドとホームページでリアルタイムに案内しています。

災害情報のご案内	電話	046-824-8119（自動音声）
	HP	http://hayama.fire.yokosuka.kanagawa.jp/saigai/hayama.html 

第5章 予防行政について

1 火災予防広報関係

町民の生命・身体・財産を火災から未然に防ぐため、さまざまな広報活動を行い、防火意識の向上を図っています。

● 火災予防運動

春、秋の火災予防運動期間中、消防車両による町内巡回広報や懸垂幕、のぼり旗、消防庁舎に設置した電光掲示板による防火広報を行っています。

また、消防団の協力のもと消防団車両による巡回広報等を行っています。

● 消防フェア

秋の火災予防運動期間中、消防庁舎又は町内の複合施設等において、消防フェアを行っていますが、令和4年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止に伴い中止させていただきました。今後も、消防フェア開催時には、消防車両の展示やミニ救命講習、住宅防火に関する広報等を行うことで、消防業務への理解と火災予防の啓発に努めていきます。

● 山火事防止

ハイキングコースを巡回し、山火事防止看板の点検を行うとともに、老朽化した看板は適宜交換しています。

また、コース内にある可搬ポンプの点検を行い、山火事防止に努めています。



● 防火ポスターコンクール

幼少年期の防火意識の啓発や向上を目的に町内小学4年生を対象とした防火ポスターコンクールを毎年行っています。令和4年度は101作品の応募があり、応募いただいた作品は、教育総合センター学びの広場にて展示会を行いました。

また、優秀な作品の中から住宅用防災機器等普及啓発用広告ポスターを制作し、公共施設や町内物販店舗等に掲出するなど、町民の方々に広く火災予防を呼びかけていきます。



2 防火対象物関係

町内における防火対象物の消防用設備等設置検査や消防訓練時に積極的に立会を行い、消火や避難、通報訓練の指導を行うとともに、関係者への防火指導や防火教育を行い、防火対象物の火災を未然に防げるよう努めています。



● 防火対象物査察

年間を通して町内の飲食店、物品販売店舗、宿泊施設、福祉施設、その他の防火対象物の査察を積極的に行っています。

消防用設備等の維持管理や避難施設の管理状況、防火管理体制等を確認し、消防法令違反に対しての是正指導を行い、安心安全な町づくりに努めています。



3 危険物関係

町内で危険物を貯蔵・取扱う施設等からの火災や流出事故を未然に防ぐことを目的とする取り組みを行っています。

● 危険物安全週間

消防車両による広報活動や懸垂幕、のぼり旗による防火広報を行っています。

また、期間中は葉山町危険物安全協会が主催となり、消防庁舎において葉山町危険物安全協会会員を対象に安全研修会を行っており、令和4年度は危険物と消火器の取扱いについての講義を行っています。



● 危険物施設査察

危険物施設からの火災や流出事故を未然に防止することを目的として町内の危険物施設の査察を行っています。



● 路上査察等

秋の火災予防運動期間中、危険物移動タンク貯蔵所や危険物運搬車両による事故を未然に防止するため、常置場所や消防庁舎前において査察を行っています。



4 住宅防火対策の推進

建物火災のうち住宅火災の占める割合は高く、住宅火災による死者の7割超が高齢者で、多くが就寝時間帯の逃げ遅れにより犠牲となっています。住宅火災による死者を未然に防ぐため、住宅防火対策の取り組みを行っています。

● 住宅用防災機器等

住宅における出火防止や消火、避難等の対策には、安全装置が設置されている暖房器具や調理器具の使用、住宅用消火器やエアゾール式簡易消火具、住宅用自動消火装置、住宅用スプリンクラー設備等の設置が有効と考えられることから、これらの普及について積極的に推奨していきます。

● 住宅用火災警報器

住宅用火災警報器は、全ての住宅への設置義務化から10年が経過していることから、設置済の住宅においても警報器の電池寿命を迎えています。

火災の早期発見と大切な家族や財産を守るためにも住宅用火災警報器の設置率の向上や定期的な点検と電池切れの際の本体交換についての広報活動を継続的に実施していきます。

第6章 消防団の活動について

1 葉山町消防団の紹介

消防団の活動は特別なことではありません。「自分たちの町は自分たちで守る」その意識だけで参加できます。当町でも、会社員や自営業、いろいろな方が地域の分団（木古庭・上山口・下山口・一色・堀内・長柄）に入団し活動しています。

2 消防団の主な活動

- 町内で火災が発生した場合、消防署の消防隊と同時に出場し、消火作業にあたります。
- 台風等の警戒や実際に被害が発生した場合の出場に備え、各詰所に参集します。
- 管内消防水利（消火栓、防火水槽等）の点検・確認を行っています。
- その他に、各分団長が計画する訓練等を行っています。

3 令和4年度に実施した主な活動

- 新入団員・機関員訓練（5月）
- 神奈川県消防操法大会（7月）
- ビッグレスキューかながわ（10月）
- 秋季火災予防運動（11月）
- 歳末火災特別警戒（12月）
- 葉山町消防出初式（1月）
- 春季火災予防運動（3月）

4 消防団員の募集

町内に居住されている方のほか、当町在勤者につきましても入団ができるようになって
います。当町に在住・在勤されている方で、通常は各自の職業に従事しながら火災や風水
害、地震等の災害に際して消防活動に従事する消防団員を募集しています。

入団の申請は電子申請が可能です。

入団申請QRコード



5 消防団協力事業所表示制度

当町では、消防団員の約 65%が被用者であることから、消防団員を雇用する事業所の消
防団活動への一層の理解と協力を得るため、消防団活動に協力している事業所を顕彰する
「消防団協力事業所表示制度」を行っています。「消防団協力事業所表示制度」とは、事業
所の消防団活動への協力が社会貢献として広く認められると同時に、事業所の協力を通じ
て、地域防災体制がより一層充実されることを目的とした制度です。「消防団協力事業所」
として認められた事業所は、取得した表示証を社屋に提示でき、表示証のマークを自社ホ
ームページ等で広く公表することができます。



6 葉山町学生消防団活動認証制度

当町では、消防団員の高齢化が進んでいることから、若い世代の入団を促進することを
目的に葉山町学生消防団活動認証制度を導入しています。

この制度は、葉山町消防団員として消防団活動を行ってきた学生の功績を当町が認証し、
就職活動等において、町が交付する『学生消防団活動認証証明書』を企業等へ提出し、消
防団として社会貢献してきた実績を評価してもらえるようアピールすることができる制度
です。

対象は、当町に居住する 18 歳以上の学生等で、当町の消防団に所属し、1 年以上継続的
に消防団活動を行った方です。

あなたにもできることがあります

消防団員募集



葉山町消防団

VOLUNTEER FIRE CORPS

お問い合わせ

葉山町消防本部消防総務課

046-876-0119

syousou@hayama.kanagawa.jp



資 料 編

葉山町消防本部・葉山町消防団のあゆみ

<p>昭和 22 年 (1947)</p>	<p>消防団令が公布される。 「葉山町警防団」は「葉山町消防団」に改称される。 初代消防団長 佐川正雄 就任 団長 1 名、副団長 2 名、分団長 6 名、副分団長 7 名、班長 35 名、副班長 35 名、団員 237 名、計 323 名 消防ポンプ自動車 1 台 三輪消防ポンプ自動車 1 台 腕用ポンプ 8 台</p>
<p>昭和 23 年 (1948)</p>	<p>御用邸より手びきガソリンポンプ 1 台を借用し、下山口に配置する。 消防団の定員を改正する。 団長 1 名、副団長 2 名、分団長 6 名、副分団長 7 名、班長 35 名、団員 342 名、計 393 名</p>
<p>昭和 25 年 (1950)</p>	<p>小型動力ポンプ（トーハツ VD-50）C-2 級 3 台を購入し、木古庭、上山口、長柄に配置する。</p>
<p>昭和 26 年 (1951)</p>	<p>第 2 代消防団長 矢嶋儀助 就任 腕用ポンプ 2 台を廃棄する。 小型動力ポンプ（トーハツ VF-48）B-3 級 1 台を購入し、下山口に配置する。</p>
<p>昭和 27 年 (1952)</p>	<p>御用邸より借用していた手びきガソリンポンプを返納する。 三輪消防ポンプ自動車（52 年式ニッサン R2B）2 台を購入し、下山口、一色に配置する。 上山口の消防器具置場を移転改修する。 下山口に配置の小型動力ポンプ（トーハツ VF-48）B-3 級 1 台を上山口分教場に配置替えする。 一色に配置の三輪消防ポンプ自動車（36 年式フォード）を長柄に配置替えする。</p>
<p>昭和 29 年 (1954)</p>	<p>小型動力ポンプ（トーハツ VD-50）C-2 級 1 台を購入し、堀内に配置する。 堀内に配置の消防ポンプ自動車（37 年式ダッチ）の修理改造を行う。</p>
<p>昭和 30 年 (1955) 昭和 31 年</p>	<p>第 3 代消防団長 伊原 若 就任 木古庭の消防器具置場を増築する。</p>

(1956)	<p>木古庭と長柄にサイレンを設置する。 消防ポンプ自動車 (38 年式フォード) 1 台を購入し、木古庭に配置する。</p>
昭和 32 年 (1957)	<p>腕用ポンプ 5 台を廃棄する。</p>
昭和 33 年 (1958)	<p>小型動力ポンプ (トーハツ VF-3) B-3 級 1 台を購入し、上山口に配置する。 上山口に配置の小型動力ポンプ (トーハツ VD-50、トーハツ VF-48) 2 台を廃棄する。 消防ポンプ自動車 (トヨタ FC70 型) A-2 級 1 台を購入し、堀内に配置する。 堀内に配置の消防ポンプ自動車 (37 年式ダッチ) を一色に配置替えする。 一色に配置の三輪消防ポンプ自動車 (52 年式ニッサン R2B) を長柄に配置替えする。 長柄に配置の三輪消防ポンプ自動車 (36 年式フォード) を廃車する。</p>
昭和 34 年 (1959)	<p>小型動力ポンプ積載用として、三輪車 (マツダ 56CLY81 型) 1 台を購入し、上山口に配置する。 小型動力ポンプ (トーハツ VF-48) B-3 級 1 台を購入し、一色に配置する。 小型動力ポンプ (トーハツ VE-3) C-2 級 1 台を購入し、下山口に配置する。 長柄に詰所を新築する。(木造平屋建、34.65 m²)</p>
昭和 35 年 (1960)	<p>消防団の定員を改正する。 団長 1 名、副団長 2 名、分団長 6 名、副分団長 7 名、班長 26 名、団員 156 名、計 198 名 消防ポンプ自動車 3 台 三輪消防ポンプ自動車 2 台 小型動力ポンプ 7 台 三輪積載車 1 台</p>
昭和 36 年 (1961)	<p>下山口に詰所を新築する。(コンクリートブロック 2 階建、延べ面積 52.69 m²) 消防ポンプ自動車 (ニッサン JR-FRB) A-2 級 1 台を購入し、一色に配置する。</p>

<p>昭和 37 年 (1962)</p>	<p>一色に配置の消防ポンプ自動車 (37 年式ダッチ) を廃車する。 小型動力ポンプ (ラビット P402-S) B-3 級 2 台を購入し、木古庭、長柄に配置する。 木古庭、長柄に配置の小型動力ポンプ (トーハツ VD-50) を廃棄する。</p>
<p>昭和 38 年 (1963)</p>	<p>第 4 代消防団長 森谷米吉 就任 小型動力ポンプ積載車 (62 年式プリンススーパーマイラー) 2 台を購入し、木古庭、上山口に配置する。 下山口にサイレンを設置する。 木古庭に配置の 38 年式フォード消防ポンプ自動車を廃車する。</p>
<p>昭和 39 年 (1964)</p>	<p>葉山町役場に火災報知専用電話 (119 番) を設置する。 上山口に配置の三輪積載車 (マツダ 56CLY81 型) を廃車する。 小型動力ポンプ (ラビット P402-M) B-3 級 1 台を購入し、堀内に配置する。 一色に詰所を新築する。(コンクリートブロック 2 階建、延べ面積 87.81 m²) 消防ポンプ自動車 (ニッサン FR-40) A-2 級 1 台を購入し、下山口に配置する。 下山口に配置の三輪消防ポンプ自動車 (52 年型ニッサン R2B 型) を廃車する。 堀内に配置の小型動力ポンプ (トーハツ VE-50) を廃棄する。</p>
<p>昭和 40 年 (1965)</p>	<p>第 5 代消防団長 萩原宏之助 就任 消防ポンプ自動車 (ニッサン FR-40) A-2 級 1 台を購入し、長柄に配置する。 長柄に配置の三輪消防ポンプ自動車 (52 年式ニッサン R2B 型) を廃車する。</p>
<p>昭和 41 年 (1966)</p>	<p>上山口に詰所を新築する。(コンクリートブロック 2 階建、延べ面積 91.92 m²) 小型動力ポンプ (ラビット P306) C-1 級 2 台を購入し、木古庭、上山口に配置する。 堀内に詰所を新築する。(鉄筋コンクリートブロック 2 階建、延べ面積 107.52 m²)</p>
<p>昭和 42 年 (1967)</p>	<p>木古庭に詰所を新築する。(コンクリートブロック 2 階建、延べ面積 81.98 m²) 長柄の詰所を増築する。(木造平屋建、68.57 m²) 防火水槽 (40 m³ 堀内) 1 基を設置する。 消防職員 実員 1 名</p>

<p>昭和 43 年 (1968)</p>	<p>葉山町消防本部発足。(3月29日、葉山町一色2155番地) 初代消防長 細谷辰三郎 就任 神奈川県衛生部より救急自動車(トヨタダイナ 43RK-171V 改) 1台を消防本部に貸与され、救急業務を開始する。 小型動力ポンプ(ラビット P306) C-1 級 1台を購入し、消防本部に配置する。 消防ポンプ自動車(ニッサン FR-40E) A-2 級 1台を購入し、堀内に配置する。 堀内に配置の消防ポンプ自動車(トヨタ FC70 型) を廃車する。 消防職員 実員 12 名</p>
<p>昭和 44 年 (1969)</p>	<p>小型動力ポンプ(ラビット P403-M) B-3 級 2台を購入し、木古庭、一色に配置する。 木古庭に配置の小型動力ポンプ(ラビット P402-S) を廃棄する。 一色に配置の小型動力ポンプ(トーハツ VF-48) を廃棄する。 消防本部に配置の小型動力ポンプ(ラビット P306) と、一色に配置の小型動力ポンプ(ラビット P403-M) を配置替える。 防火水槽(40 m³ 下山口、長柄) 2基を設置する。 消防ポンプ自動車(トヨタ FJ-55) A-2 級 1台を購入し、消防本部に配置する。 消防職員 実員 15 名</p>
<p>昭和 45 年 (1970)</p>	<p>指令車(ニッサンプリンスグロリア HA-30) 1台を購入し、消防本部に配置する。 消防無線を設置する。 基地局 1基 10W、移動局 3基 10W、携帯 2基 1W 葉山町消防庁舎落成(4月1日 葉山町堀内 2050 番地 鉄筋コンクリート 3階建、延べ面積 521.972 m²) 防火水槽(40 m³ 木古庭、堀内) 2基を設置する。 消防ポンプ自動車 1台 救急自動車 1台 指令車 1台 小型動力ポンプ 1台 消防職員 実員 19 名</p>
<p>昭和 46 年 (1971)</p>	<p>葉山御用邸焼失(1月27日) 水槽付消防ポンプ自動車(いすゞ TXG10) A-2 級 1台を購入し、消防署に配置する。 消防無線機増設。移動局 2基 10W 広報車(トヨタマーク II RT77) 1台を購入し、消防本部に配置する。 防火水槽(40 m³ 上山口) 1基を設置する。</p>

<p>昭和 47 年 (1972)</p>	<p>救急自動車 (トヨタ RH18V) 1 台を購入し、消防署に配置する。 消防無線機増設。移動局 1 基 10W 防火水槽 (40 m³ 一色) 1 基を設置する。 消防職員 実員 22 名</p>
<p>昭和 48 年 (1973)</p>	<p>防火水槽 (40 m³ 上山口) 1 基を設置する。 小型動力ポンプ (ラビット P306) C-1 級 1 台を購入し、下山口に配置する。 下山口に配置の小型動力ポンプ (トーハツ VE-3) を廃棄する。</p>
<p>昭和 49 年 (1974)</p>	<p>消防ポンプ自動車 (ニッサン FHN60BD- I 型) A-2 級 1 台を購入し、一色に配置する。 一色に配置の消防ポンプ自動車 (ニッサン JR-FRB) を廃車する。 消防職員 実員 27 名</p>
<p>昭和 50 年 (1975)</p>	<p>小型動力ポンプ (ラビット P306) C-1 級 1 台を購入し、長柄に配置する。 長柄に配置の小型動力ポンプ (ラビット P402-S) を廃棄する。 消防ポンプ自動車 (ニッサン FHN60BD- I 型) A-2 級 2 台を購入し、木古庭、上山口に配置する。 木古庭、上山口に配置の小型動力ポンプ積載車 (62 年式プリンスーパーマイラー) を廃車する。 木古庭、上山口に配置の小型動力ポンプ (ラビット P306、ラビット P402-S) を廃棄する。 消防無線機増設。携帯 2 基 1W 消防職員 実員 28 名</p>
<p>昭和 51 年 (1976)</p>	<p>日本船舶振興会より小型動力ポンプ積載車 (ニッサン HF-20 改) 1 台と小型動力ポンプ (ラビット P502-S) B-2 級 1 台の寄贈を受け、一色に配置する。</p>
<p>昭和 52 年 (1977)</p>	<p>第 6 代消防団長 永津義次 就任 堀内の詰所を小型動力ポンプ積載車配置のため改築する。 小型動力ポンプ積載車 (スズキキャリー H-L50 改) 2 台を購入し、上山口、堀内に配置する。 一色に配置の小型動力ポンプ (ラビット P306) を堀内に配置替える。 堀内に配置の小型動力ポンプ (ラビット P402-M) を廃棄する。 日本消防協会より広報車 (三菱ギャラン H-A112V 改) 1 台の寄贈を受け、消防本部に配置する。 消防本部に配置の広報車 (トヨタマーク II RT77) を廃車する。 指令車 (トヨタマーク II E-MX40) 1 台を購入し、消防本部に配置する。</p>

	<p>消防本部に配置の指令車（ニッサンプリンスグロリア HA-30）を廃車する。</p> <p>積載車（ダイハツ S60PD）1 台を購入し、消防署に配置する。</p> <p>固定局を設置する。1 基 10W</p> <p>無線式サイレン吹鳴装置を設置する。</p> <p>消防職員 実員 33 名</p>
<p>昭和 53 年 (1978)</p>	<p>消防ポンプ自動車（ニッサン FHN60BD- I 型）A-2 級 1 台を購入し、下山口に配置する。</p> <p>下山口に配置の消防ポンプ自動車（ニッサン FR-40）を廃車する。</p> <p>消防無線機増設。携帯 1 基 1W</p> <p>救急自動車（トヨタ RH42VB-J）1 台を購入し、消防署に配置する。</p> <p>消防署に配置の救急自動車（トヨタダイナ RK-171V）を廃車する。</p> <p>防火水槽（40 m³ 堀内）1 基を設置する。</p> <p>消防職員 実員 34 名</p>
<p>昭和 54 年 (1979)</p>	<p>消防ポンプ自動車（ニッサン FHN60BD- I 型）A-2 級 1 台を購入し、長柄に配置する。</p> <p>長柄に配置の消防ポンプ自動車（ニッサン FR-40）を廃車する。</p> <p>消防無線機増設。移動局 1 基 10W</p> <p>街頭消火器（20 型 ABC 粉末）80 基を堀内、一色に設置する。</p>
<p>昭和 55 年 (1980)</p>	<p>第 2 代消防長 尾崎 昇 就任</p> <p>消防ポンプ自動車（ニッサン FH61BD- I 型）A-2 級 1 台を購入し、消防署に配置する。</p> <p>消防署に配置の消防ポンプ自動車（トヨタ FJ-55）を廃車する。</p> <p>街頭消火器（20 型 ABC 粉末）70 基を堀内、一色、下山口に設置する。</p> <p>防火水槽（40 m³ 上山口、下山口、堀内）3 基を設置する。</p>
<p>昭和 56 年 (1981)</p>	<p>水槽付消防ポンプ自動車（ニッサンディーゼル K-CM85C 改）A-2 級 1 台を購入し、消防署に配置する。</p> <p>消防署に配置の水槽付消防ポンプ自動車（いすゞ TXG10）を廃車する。</p> <p>防火水槽（40 m³ 堀内）1 基を設置する。</p> <p>街頭消火器（20 型 ABC 粉末）80 基を堀内に設置する。</p> <p>小型動力ポンプ（トーハツ V30AS）B-3 級 1 台を購入し、消防署に配置する。</p> <p>消防署に配置の小型動力ポンプ（ラビット P402-M）を廃棄する。</p> <p>小型動力ポンプ（トーハツ V15A）C-1 級 1 台を購入し、上山口に配置する。</p> <p>上山口に配置の小型動力ポンプ（ラビット P306）を廃棄する。</p>

<p>昭和 57 年 (1982)</p>	<p>消防ポンプ自動車（トヨタ FJ60V 改 BD-I 型）A-2 級 1 台を購入し、堀内に配置する。 堀内に配置の消防ポンプ自動車（ニッサン FR-40）を廃車する。 小型動力ポンプ（トーハツ V30AS）B-3 級 1 台を購入し、堀内に配置する。 堀内に配置の小型動力ポンプ（ラビット P306）を廃棄する。 街頭消火器（20 型 ABC 粉末）83 基を一色、堀内、長柄に設置する。 消防無線機増設。基地局 1 基 10W 予備機、携帯 1 基 5W</p>
<p>昭和 58 年 (1983)</p>	<p>救急自動車（トヨタ L-YH71VB）1 台を購入し、消防署に配置する。 消防署に配置の救急自動車（トヨタ RH18V）を廃車する。 小型動力ポンプ（トーハツ V30AS）B-3 級 1 台を購入し、木古庭に配置する。 木古庭に配置の小型動力ポンプ（ラビット P402-M）を廃棄する。 広報車（ニッサンブルーバード L-VJ910 改）1 台を購入し、消防署に配置する。 消防本部に配置の広報車（三菱ギャラン H-A112V 改）を廃車する。 街頭消火器（20 型 ABC 粉末）81 基を一色、堀内に設置する。</p>
<p>昭和 59 年 (1984)</p>	<p>街頭消火器（20 型 ABC 粉末）208 基を木古庭、上山口、下山口、一色、堀内、長柄に設置する。</p>
<p>昭和 60 年 (1985)</p>	<p>第 3 代消防長 小峰和夫 就任 第 4 代消防長 鈴木寶三郎 就任 軽トラック（ダイハツ M-S664WD）1 台を購入し、消防本部に配置する。 指令車（ニッサンブルーバード E-U11 改）1 台を購入し、消防本部に配置する。 消防本部に配置の指令車（トヨタマーク II E-MX40）を廃車する。 積載車（三菱 M-U11V 改）1 台を購入し、消防署に配置する。 消防署に配置の積載車（ダイハツ S60PD）を廃車する。</p>
<p>昭和 61 年 (1986)</p>	<p>第 7 代消防団長 石川清治 就任 救急自動車（トヨタ L-YH71VB）1 台を購入し、消防署に配置する。 消防署に配置の救急自動車（トヨタ RH42VB-J）を廃車する。 消防無線機増設。移動局 1 基 10W 長柄に詰所を新築する。（鉄骨平屋建、93.61 m²）</p>
<p>昭和 62 年 (1987)</p>	<p>小型動力ポンプ（富士ロビン P303BS）C-1 級 1 台を購入し、下山口に配置する。 下山口に配置の小型動力ポンプ（ラビット P306）を廃棄する。 消防救急指令装置（富士通ゼネラル HA-305）、無線統制台（富士</p>

<p>昭和 63 年 (1988)</p>	<p>通ゼネラル RC-6033) を導入し、運用開始する。 葉山町防災行政無線遠隔制御装置を設置する。 消防職員 実員 38 名</p> <p>第 8 代消防団長 矢島正治 就任 小型動力ポンプ (ラビット P303BS) C-1 級 1 台を購入し、長柄に配置する。 長柄に配置の小型動力ポンプ (ラビット P306) を廃棄する。 消防ポンプ自動車 (ニッサン FGY60 改 BD- I 型) A-2 級 1 台を購入し、一色に配置する。 一色に配置の消防ポンプ自動車 (ニッサン FHN60BD- I 型) を廃車する。</p>
<p>平成元年 (1989)</p>	<p>広報車 (スバルレガシィ E-BF3 改) 1 台を購入し、消防本部に配置する。 消防本部に配置の広報車 (ニッサンブルーバード L-VJ910 改) を廃車する。 小型動力ポンプ (トヨタ T66B4) C-1 級 1 台を購入し、一色に配置する。 一色に配置の小型動力ポンプ (ラビット P502-S) B-2 級を廃棄する。 小型動力ポンプ積載車 (ダイハツ M-S80P 改) 1 台を購入し、一色に配置する。 一色に配置の小型動力ポンプ積載車 (ニッサン HF-20 改) を廃車する。 消防ポンプ自動車 (ニッサン T-FGY60 改) A-2 級 1 台を購入し、木古庭に配置する。 木古庭に配置の消防ポンプ自動車 (ニッサン FHN60BD- I 型) A-2 級を廃車する。 防火水槽改修を行う。 消防無線機増設。移動局 1 基 10W</p>
<p>平成 2 年 (1990)</p>	<p>消防団車両 9 台に消防無線受令機を設置する。 救急自動車 (トヨタ U-LH129S) 1 台を購入し、消防署に配置する。 消防無線機増設。移動局 1 基 10W、携帯 1 基 5W 小型動力ポンプ積載車 (ダイハツ M-S82P 改) 1 台を購入し、堀内に配置する。 堀内に配置の小型動力ポンプ積載車 (スズキキャリー H-L50 改) を廃車する。 消防ポンプ自動車 (ニッサン T-FGY60 改) A-2 級 1 台を購入し、上山口に配置する。 上山口に配置の消防ポンプ自動車 (ニッサン FHN60BD- I 型) を廃車する。 消防ポンプ自動車 (三菱 U-FG337C 改) A-2 級 1 台を購入し、消防署に配置する。</p>

<p>平成 3 年 (1991)</p>	<p>消防署に配置の消防ポンプ自動車（ニッサン FH61BD- I 型）を廃車する。 木古庭の詰所を移転新築する。（鉄骨 2 階建、延べ面積 177. 493 m²） 第 37 回神奈川県消防操法大会に第 3 分団出場する。 消防職員 定員 40 名 実員 40 名</p> <p>第 5 代消防長 大竹二郎 就任 小型動力ポンプ積載車（ダイハツ M-S83P 改）1 台を購入し、上山口に配置する。 上山口に配置の小型動力ポンプ積載車（スズキキャリーH-L50 改）を廃車する。 水槽付消防ポンプ自動車（いすゞU-FRR32DBV 改）A-2 級 1 台を購入し、消防署に配置する。 消防署に配置の水槽付消防ポンプ自動車（ニッサンディーゼル K-CM85C 改）を廃車する。 消防職員 定員 40 名 実員 40 名</p>
<p>平成 4 年 (1992)</p>	<p>機構改革により消防本部に防災係を設置する。 防災車（トヨタ L-KE72V）1 台を消防本部に配置する。 第 38 回神奈川県消防操法大会に第 4 分団出場する。 消防職員 定員 43 名 実員 43 名</p>
<p>平成 5 年 (1993)</p>	<p>第 10 回三浦半島地区消防救助技術交換会に出場する。 （出場種目 ほふく救出） 第 18 回神奈川県下消防救助技術指導会に出場する。 （出場種目 ほふく救出） 積載車（三菱 V-U42V 改）1 台を購入し、消防署に配置する。 消防署に配置の積載車（三菱 M-U11V 改）を廃車する。 「甲部隊」「乙部隊」を「第 1 警備隊」「第 2 警備隊」に改称する。 消防ポンプ自動車（ニッサン FGY60 改）A-2 級 1 台を購入し、下山口に配置する。 下山口に配置の消防ポンプ自動車（ニッサン FHN60BD- I 型）を廃車する。 本団、各分団に消防無線を設置する。携帯 15 基（5W3 基、1W12 基） 消防職員 定員 43 名 実員 43 名</p>
<p>平成 6 年 (1994)</p>	<p>防災車（トヨタ U-LH119V 改）1 台を購入し、消防本部に配置する。 消防本部に配置の防災車（トヨタ L-KE72V）を廃車する。 葉山町防災行政無線増設。携帯 2 基 5W 第 11 回三浦半島地区消防救助技術交換会に出場する。 （出場種目 ほふく救出）</p>

<p>平成 7 年 (1995)</p>	<p>第 19 回神奈川県下消防救助技術指導会に出場する。 (出場種目 ほふく救出) 第 39 回神奈川県消防操法大会に第 5 分団出場する。 消防無線更新。携帯 3 基 5W 高規格救急自動車 (トヨタ Z-UZH132S) 1 台を購入し、消防署に配置する。 消防署に配置の救急自動車 (トヨタ L-YH71VB) を廃車する。 消防ポンプ自動車 (ニッサン Z-FGY60) 1 台を購入し、長柄に配置する。 長柄に配置の消防ポンプ自動車 (ニッサン FHN60) を廃車する。 消防職員 定員 47 名 実員 46 名</p> <p>第 6 代消防長 高木太郎 就任 消防庁舎新築工事着工 兵庫県南部地震 (阪神淡路大震災) 発生に伴い 4 名を派遣する。 (第 1 次派遣隊、第 2 次派遣隊共に兵庫県兵庫消防署へ派遣) 第 12 回三浦半島地区消防救助技術交換会に出場する。 (出場種目 ほふく救出) 第 20 回神奈川県下消防救助技術指導会に出場する。 (出場種目 ほふく救出) 消防ポンプ自動車 (ニッサン Z-FGY60 改) 1 台を購入し、堀内に配置する。 堀内に配置の消防ポンプ自動車 (トヨタ FJ60V 改) を廃車する。 教材用として葉山小学校へ寄贈する。 消防職員 定員 47 名 実員 47 名</p>
<p>平成 8 年 (1996)</p>	<p>新葉山町消防庁舎落成 (11 月 24 日 葉山町堀内 2050 番地 鉄筋コンクリート造一部鉄骨造、地上 3 階地下 1 階、救助訓練施設併設、延べ面積 2,558.77 m²) 消防緊急通信指令装置 I 型 (富士通ゼネラル H-315) を整備し、運用を開始する。 無線式サイレン吹鳴装置を更新整備する。 防火水槽 (40 m³ 堀内) 1 基を設置する。 旧消防庁舎を解体する。 小型動力ポンプ (ラビット P380LM) C-1 級 2 台を購入し、上山口、堀内に配置する。 上山口に配置の小型動力ポンプ (トーハツ V15A) C-1 級を廃棄する。 堀内に配置の小型動力ポンプ (トーハツ V15AS) C-1 級を廃棄する。 小型動力ポンプ (ラビット P475S-DX・V) B-3 級 1 台を購入し、消防署に配置する。 消防署に配置の小型動力ポンプ (トーハツ V30AS) B-3 級を廃棄する。 軽トラック (スバル V-KS4 改) 1 台を購入し、消防本部に配置する。</p>

<p>平成 9 年 (1997)</p>	<p>消防本部に配置の軽トラック（ダイハツ M-S664WD）を廃車する。 第 13 回三浦半島地区消防救助技術交換会に出場する。 （出場種目 ほふく救出） 第 21 回神奈川県下消防救助技術指導会に出場する。 （出場種目 ほふく救出） 第 40 回神奈川県消防操法大会に第 6 分団出場する。 消防職員 定員 47 名 実員 47 名</p> <p>日本損害保険協会より救助工作車（ニッサンディーゼル KC-MK211EH 改）1 台の寄贈を受け、消防署に配置する。 広報車（三菱 E-CD5W 改）1 台を購入し、消防本部に配置する。 消防本部に配置の指令車（ニッサンブルーバード E-U11 改）を廃車する。 消防本部に配置の広報車（スバルレガシー E-BF3 改）を廃車する。 第 14 回三浦半島地区消防救助技術交換会に出場する。 （出場種目 はしご登はん、ほふく救出、ロープブリッジ救出、ロープブリッジ渡過） 第 22 回神奈川県下消防救助技術指導会に出場する。 （出場種目 はしご登はん、ほふく救出、ロープブリッジ救出、ロープブリッジ渡過） 消防無線機増設。移動局 1 基 10W、携帯 2 基 5W 消防無線全国波を導入する。 下山口の詰所を移転新築する。（鉄骨 1 階建、85.05 m²） 下山口に防火水槽（40 m³）1 基、一色に防火水槽（20 m³）1 基を設置する。 消防職員 定員 47 名 実員 47 名</p>
<p>平成 10 年 (1998)</p>	<p>第 7 代消防長 本田恒雄 就任 葉山町女性防火防災クラブ発足 78 名 第 15 回三浦半島地区消防救助技術交換会に出場する。 （出場種目 はしご登はん、ロープブリッジ渡過） 第 23 回神奈川県下消防救助技術指導会に出場する。 （出場種目 はしご登はん、ロープブリッジ渡過） 第 41 回神奈川県消防操法大会に第 1 分団出場する。 消防署に配置の救急自動車（トヨタ L-YH71VB）を廃車する。 小型動力ポンプ（富士ロビン P380）C-1 級 1 台を購入し、木古庭に配置する。 木古庭に配置の小型動力ポンプ（トーハツ V30AS）B-3 級を廃棄する。 防火水槽（40 m³：下山口、一色 20 m³：一色 2 基、堀内、長柄）6 基を設置する。 葉山町行政改革大綱に基づき、課制を導入。 消防本部 1 課（消防総務課）、消防署 2 課（警備第 1 課、警備第 2 課）に改める。 小型動力ポンプ（ラビット P265M 型）D-1 級 1 台を購入し、下山</p>

<p>平成 11 年 (1999)</p>	<p>口に配置する。 消防職員 定員 47 名 実員 47 名</p> <p>下山口に配置の小型動力ポンプ (富士ロビン P303BS) C-1 級を廃棄する。 第 16 回三浦半島地区消防救助技術交換会に出場する。 (出場種目 はしご登はん、ロープブリッジ渡過) 第 24 回神奈川県下消防救助技術指導会に出場する。 (出場種目 はしご登はん、ロープブリッジ渡過) 上山口の詰所を新築する。(鉄骨 2 階建、延べ面積 117.75 m²) 消防職員 定員 47 名 実員 46 名</p>
<p>平成 12 年 (2000)</p>	<p>第 17 回三浦半島地区消防救助技術交換会に出場する。 (出場種目 ロープブリッジ渡過) 第 25 回神奈川県下消防救助技術指導会に出場する。 (出場種目 ロープブリッジ救出、ロープブリッジ渡過) 第 42 回神奈川県消防操法大会に第 2 分団出場する。 高規格救急自動車 (トヨタ GE-VCH32S) 1 台を購入し、消防署に配置する。 消防職員 定員 47 名 実員 46 名</p>
<p>平成 13 年 (2001)</p>	<p>第 8 代消防長 行谷正道 就任 消防署に配置の救急自動車 (トヨタ U-LH129S) を廃車する。 一色の詰所を移転新築する。(鉄骨 2 階建、延べ面積 117.75 m²) 第 18 回三浦半島地区消防救助技術交換会に出場する。 (出場種目 ロープブリッジ救出、ロープブリッジ渡過) 第 26 回神奈川県下消防救助技術指導会に出場する。 (出場種目 ロープブリッジ救出、ロープブリッジ渡過) 消防ポンプ自動車 (日野 KK-XZU371M 改) A-2 級 1 台を購入し、消防署に配置する。 消防署に配置の消防ポンプ自動車 (三菱 U-FG337C 改) を廃車する。 湘南国際村内消火栓 8 基 (上山口 5 基、下山口 3 基) 葉山町に帰属する。 消防職員 定員 47 名 実員 46 名</p>
<p>平成 14 年 (2002)</p>	<p>第 9 代消防団長 伊東正悦 就任 第 19 回三浦半島地区消防救助技術交換会に出場する。 (出場種目 ロープブリッジ救出) 第 27 回神奈川県下消防救助技術指導会に出場する。 (出場種目 ロープブリッジ救出) 第 43 回神奈川県消防操法大会に第 3 分団出場する。 消防職員 定員 47 名 実員 46 名</p>

<p>平成 15 年 (2003)</p>	<p>第 10 代消防団長 石井建一 就任 堀内の詰所を移転新築する。(鉄骨 2 階建、延べ面積 113.96 m²) 第 20 回三浦半島地区消防救助技術交換会に出場する。 (出場種目 ロープブリッジ救出) 第 28 回神奈川県下消防救助技術指導会に出場する。 (出場種目 ロープブリッジ救出) 消防ポンプ自動車(日野 KK-FD1JEEA 改) A-2 級 1 台を購入し、 消防署に配置する。 消防署に配置の水槽付消防ポンプ自動車(いすゞU-FRR32DBV 改) を廃車する。 消防ポンプ自動車(三菱 KK-FE73ECY) A-2 級 1 台を購入し、一色 に配置する。 一色に配置の消防ポンプ自動車(ニッサン FGY60 改 BD-I 型) を 廃車する。 防災資機材搬送車(ニッサン LC-VPE25) 1 台を購入し、消防本部 に配置する。 消防本部に配置の防災車(トヨタ U-LH119V 改) を廃車する。 消防職員 定員 47 名 実員 46 名</p>
<p>平成 16 年 (2004)</p>	<p>第 9 代消防長 石屋 博 就任 葉山町消防団 0B 会発足。 第 21 回三浦半島地区消防救助技術交換会に出場する。 (出場種目 はしご登はん) 第 29 回神奈川県下消防救助技術指導会に出場する。 (出場種目 はしご登はん、基本泳法) 第 44 回神奈川県消防操法大会に第 4 分団出場する。 高規格救急自動車(ニッサン TC-FPGE50 改) 1 台購入し、消防本部 に配置する。 消防本部に配置の高規格救急自動車(トヨタ Z-UZH132S) をパラ オ共和国に贈与する。 消防ポンプ自動車(日野 KK-FD1JEEA 改) A-2 級 1 台を購入し、 木古庭に配置する。 木古庭に配置の消防ポンプ自動車(いすゞU-FRR32DBV 改) を廃車 する。 2 交替勤務から 3 交替勤務に移行する。(10 月 1 日) 消防職員 定員 47 名 実員 47 名</p>
<p>平成 17 年 (2005)</p>	<p>第 22 回三浦半島地区消防救助技術交換会に出場する。 (出場種目 はしご登はん) 第 30 回神奈川県下消防救助技術指導会に出場する。 (出場種目 はしご登はん) 消防ポンプ自動車(日野 PD-XZU304E 改) A-2 級 1 台を購入し、 上山口に配置する。 上山口に配置の消防ポンプ自動車(ニッサン T-FGY60 改) を廃車 する。 消防職員 定員 47 名 実員 47 名</p>

<p>平成 18 年 (2006)</p>	<p>第 23 回三浦半島地区消防救助技術交換会に出場する。 (出場種目 はしご登はん) 第 31 回神奈川県下消防救助技術指導会に出場する。 (出場種目 はしご登はん第 2 位入賞) 第 45 回神奈川県消防操法大会に第 5 分団出場する。 消防職員 定員 47 名 実員 47 名</p>
<p>平成 19 年 (2007)</p>	<p>第 10 代消防長 坂本光俊 就任 積載車 (ニッサン GBD-U72TP) 1 台を購入し、消防署に配置する。 消防署に配置の積載車 (三菱 V-U42V 改) を廃車する。 第 24 回三浦半島地区消防救助技術交換会に出場する。 (出場種目 はしご登はん) 第 32 回神奈川県下消防救助技術指導会に出場する。 (出場種目 はしご登はん) (出場種目 基本泳法 第 36 回消防救助技術関東地区指導会選出) 消防職員 定員 47 名 実員 46 名</p>
<p>平成 20 年 (2008)</p>	<p>第 25 回三浦半島地区消防救助技術交換会に出場する。 (出場種目 はしご登はん) 第 33 回神奈川県下消防救助技術指導会に出場する。 (出場種目 はしご登はん、基本泳法) 第 37 回消防救助技術関東地区指導会に出場する。 (出場種目 基本泳法) 第 46 回神奈川県消防操法大会に第 6 分団出場する。 消防ポンプ自動車 (日野 BDG-XZU304E) A-2 級 1 台を購入し、下山口に配置する。 下山口に配置の消防ポンプ自動車 (ニッサン Z-FGY60 改) を廃車する。 小型動力ポンプ積載車 (スバル EBD-TT2) 1 台を購入し、一色に配置する。 一色に配置の小型動力ポンプ積載車 (ダイハツ M-S80P 改) を廃車する。 下山口に防火水槽 (40 m³) を設置する。 消防職員 定員 47 名 実員 47 名</p>
<p>平成 21 年 (2009)</p>	<p>第 11 代消防長 有馬 弘 就任 第 11 代消防団長 石井定裕 就任 第 26 回三浦半島地区消防救助技術交換会に出場する。 (出場種目 はしご登はん) 第 34 回神奈川県下消防救助技術指導会に出場する。 (出場種目 はしご登はん、基本泳法) 消防緊急通信指令装置 I 型 (富士通ゼネラル HA-3000D) を整備し、運用を開始する。 高規格救急自動車 (トヨタ CBF-TRH226S) 1 台を購入し、消防署</p>

<p>平成 22 年 (2010)</p>	<p>に配置する。 消防署に配置の高規格救急自動車（トヨタ GE-VCH32S）を廃車する。 消防ポンプ自動車（日野 BDG-XZU304E）A-2 級 1 台を購入し、長柄に配置する。 長柄に配置の消防ポンプ自動車（ニッサン Z-FGY60 改）を廃車する。 消防職員 定員 47 名 実員 47 名</p> <p>第 27 回三浦半島地区消防救助技術交換会に出場する。 （出場種目 はしご登はん） 第 35 回神奈川県下消防救助技術指導会に出場する。 （出場種目 はしご登はん） 第 47 回神奈川県消防操法大会に第 1 分団出場する。 消防無線更新。携帯 2 基 5W 水難救助艇（アキレス SG-140）1 艘を購入し、消防署に配置する。 日本損害保険協会より小型動力ポンプ積載車（ダイハツ EBD-S331W）1 台の寄贈を受け、堀内に配置する。 堀内に配置の小型動力ポンプ積載車（ダイハツ M-S82P 改）を廃車する。 消防ポンプ自動車（日野 BDG-XZU304E）A-2 級 1 台を購入し、堀内に配置する。 堀内に配置の消防ポンプ自動車（ニッサン Z-FGY60 改）を廃車する。 消防職員 定員 47 名 実員 47 名</p>
<p>平成 23 年 (2011)</p>	<p>東北地方太平洋沖地震（東日本大震災）発生に伴い、緊急消防援助隊として消火隊 2 隊を派遣する。（第 1 次派遣隊は宮城県仙台市宮城野区岡田地区、第 2 次派遣隊は宮城県仙台市宮城野区蒲生地区へ派遣） 機動車（ニッサン DBA-NT31）1 台を購入し、消防署に配置する。 消防署に配置の広報車（三菱 E-CD5W 改）を廃車する。 機構改革により総務部総務課に防災係を設置する。 消防職員 定員 47 名 実員 47 名</p>
<p>平成 24 年 (2012)</p>	<p>第 29 回三浦半島地区消防救助技術交換会に出場する。 （出場種目 はしご登はん、ほふく救出） 第 37 回神奈川県下消防救助技術指導会に出場する。 （出場種目 はしご登はん、ほふく救出） 第 48 回神奈川県消防操法大会に第 2 分団出場する。 （ポンプ車操法の部 第 3 位優秀賞） 救助工作車（日野 SDG-GX7JGAA 改）1 台を購入し、消防署に配置する。 消防署に配置の救助工作車（ニッサンディーゼル KC-MK211EH 改）を廃車する。</p>

<p>平成 25 年 (2013)</p>	<p>消防職員 定員 47 名 実員 47 名</p> <p>第 12 代消防長 小山正彦 就任 第 12 代消防団長 沼田慎一 就任 第 13 代消防長 高梨 勝 就任 第 30 回三浦半島地区消防救助技術交換会に出場する。 (出場種目 はしご登はん、ほふく救出) 第 38 回神奈川県下消防救助技術指導会に出場する。 (出場種目 はしご登はん、ほふく救出) 資機材搬送車 (いすゞ TDG-NMS85AN) 1 台を購入し、消防署に配置する。 総務省消防庁より小型動力ポンプ積載車 (ダイハツ EBD-S331W) 1 台の無償貸与を受け、上山口に配置する。 上山口に配置の小型動力ポンプ積載車 (ダイハツ M-S82P 改) を廃車する。 消防職員 定員 47 名 実員 47 名</p>
<p>平成 26 年 (2014)</p>	<p>第 31 回三浦半島地区消防救助技術交換会に出場する。 (出場種目 はしご登はん、ほふく救出、ロープブリッジ救出) 第 39 回神奈川県下消防救助技術指導会に出場する。 (出場種目 はしご登はん、ほふく救出、ロープブリッジ救出) 第 49 回神奈川県消防操法大会に第 3 分団出場する。 高規格救急自動車 (トヨタ CBF-TRH226S) 1 台を購入し、消防署に配置する。 消防署に配置の高規格救急自動車 (ニッサン TC-FPGE50 改) を廃車する。 横須賀市・三浦市・葉山町、2 市 1 町による消防通信指令事務の共同運用に向けた「横須賀市・三浦市・葉山町消防通信指令事務協議会」設置。(横須賀市・三浦市消防指令センターは平成 25 年 4 月より運用開始。) 消防職員 定員 48 名 実員 48 名</p>
<p>平成 27 年 (2015)</p>	<p>横須賀市・三浦市・葉山町消防指令センター運用開始。 消防救急デジタル無線 (活動波・統制波・主運用波) 運用開始。 予防係を予防課へ変更する。 第 32 回三浦半島地区消防救助技術交換会に出場する。 (出場種目 はしご登はん、ロープブリッジ救出、ロープブリッジ渡過) 第 40 回神奈川県下消防救助技術指導会に出場する。 (出場種目 はしご登はん、ロープブリッジ救出、ロープブリッジ渡過) C A F S 付消防ポンプ自動車 (モリタ TKG-XZU640M) A-2 級 1 台を購入し、消防署に配置する。 消防署に配置の消防ポンプ自動車 (日野 KK-FD1JEEA 改) A-2 級を廃車する。</p>

	<p>一色に消火栓 1 基、長柄に消火栓 1 基、堀内に防火水槽 (40 m³) 1 基を設置する。</p> <p>小型動力ポンプ (トーハツ VF-21BS 型) C-1 級 3 台を購入し、木古庭、一色、長柄に配置する。</p> <p>木古庭に配置の小型動力ポンプ (富士ロビン P380) C-1 級を廃棄する。</p> <p>一色に配置の小型動力ポンプ (トーハツ T66B4) C-1 級を廃棄する。</p> <p>長柄に配置の小型動力ポンプ (ラビット P303BS) C-1 級を廃棄する。</p> <p>消防職員 定員 49 名 実員 49 名</p>
<p>平成 28 年 (2016)</p>	<p>第 14 代消防長 福本昌己 就任</p> <p>第 33 回三浦半島地区消防救助技術交換会に出場する。 (出場種目 はしご登はん、ロープブリッジ救出、ロープブリッジ渡過、ロープ応用登はん)</p> <p>第 41 回神奈川県下消防救助技術指導会に出場する。 (出場種目 はしご登はん、ロープブリッジ渡過)</p> <p>第 50 回神奈川県消防操法大会に第 4 分団出場する。 下山口に消火栓 2 基、長柄に消火栓 2 基を設置する。</p> <p>小型動力ポンプ (トーハツ VF-21BS 型) C-1 級 1 台を購入し、消防署に配置する。</p> <p>消防署に配置の小型動力ポンプ (ラビット P475S-DX・V) B-3 級を廃棄する。</p> <p>資機材搬送車 (ニッサン EBD-DR16T) 1 台を購入し、下山口に配置する。</p> <p>消防職員 定員 52 名 実員 49 名</p>
<p>平成 29 年 (2017)</p>	<p>長柄の詰所を移転新築する。(鉄骨 1 階建、延べ面積 122.42 m²)</p> <p>第 34 回三浦半島地区消防救助技術交換会に出場する。 (出場種目 はしご登はん、ロープブリッジ救出、ロープブリッジ渡過、ロープ応用登はん、ほふく救出)</p> <p>第 42 回神奈川県下消防救助技術指導会に出場する。 (出場種目 はしご登はん、ロープブリッジ救出、ロープ応用登はん、ほふく救出)</p> <p>資機材搬送車 (ニッサン EBD-DR16T) 1 台を購入し、木古庭に配置する。</p> <p>消防職員 定員 52 名 実員 54 名</p>
<p>平成 30 年 (2018)</p>	<p>第 15 代消防長 小峰 守 就任</p> <p>第 35 回三浦半島地区消防救助技術交換会に出場する。 (出場種目 はしご登はん、ロープブリッジ渡過、ロープ応用登はん、ほふく救出)</p> <p>第 43 回神奈川県下消防救助技術指導会に出場する。 (出場種目 はしご登はん、ロープブリッジ渡過、ロープ応用登は</p>

	<p>ん、ほふく救出) 第 51 回神奈川県消防操法大会に第 5 分団出場する。 木古庭に消火栓 1 基、上山口に消火栓 1 基、一色に消火栓 1 基を設置する。 高規格救急自動車（ニッサン CBF-CS8E26 改）1 台を購入し、消防署に配置する。 消防署に配置の高規格救急自動車（トヨタ CBF-TRH226S）を予備車とする。 資機材搬送車（ニッサン EBD-DR16T）1 台を購入し、長柄に配置する。 消防職員 定員 55 名 実員 55 名</p>
令和元年 (2019)	<p>第 13 代消防団長 石井栄蔵 就任 第 36 回三浦半島地区消防救助技術交換会に出場する。 (出場種目 はしご登はん、ロープブリッジ渡過、ロープ応用登はん) 第 44 回神奈川県下消防救助技術指導会に出場する。 (出場種目 はしご登はん、ロープブリッジ渡過、ロープ応用登はん) 総務省消防庁より救助用資機材搭載型消防ポンプ自動車(トヨタ LDF-KDY231 改)1 台の無償貸与を受け、一色に配置する。 消防職員 定員 55 名 実員 54 名</p>
令和 2 年 (2020)	<p>木古庭に消火栓 1 基を設置する。 消防職員 定員 55 名 実員 54 名</p>
令和 3 年 (2021)	<p>第 14 代消防団長 佐藤 孝 就任 下山口に消火栓 1 基を設置する。 消防ポンプ自動車（モリタ 2KG-XZU685M）1 台を購入し、消防署に配置する。 消防ポンプ自動車（日野 KK-XZU371M 改）A-2 級 1 台を廃車する。 一色に配置していた消防ポンプ自動車（三菱 KK-FE73ECY）A-2 級 1 台を廃車する。（コロンビ共和国へ寄贈） 静岡県熱海市の土石流災害発生に伴い、緊急消防援助隊を派遣する。（第 3 次派遣 消火隊 1 隊、第 4 次派遣 消火隊 1 隊） 消防職員 定員 55 名 実員 54 名</p>
令和 4 年 (2022)	<p>第 16 代消防長 伊藤義紀 就任 第 47 回神奈川県消防救助技術指導会に出場する。 (出場種目 はしご登はん、ロープブリッジ渡過、基本泳法) 第 54 回神奈川県消防操法大会に第 6 分団出場し、ポンプ車の部 で 2 番員及び 4 番員が最優秀賞（個人）を受賞する。 総務省消防庁より救助用資機材搭載型消防ポンプ自動車(トヨタ</p>

3BF-TRY230)1台の無償貸与を受け、木古庭に配置する。

高規格救急自動車（ニッサン 3BF-CS8E26 改）1台を購入し、消防署に配置する。

消防署に配置の高規格救急自動車（トヨタ CBF-TRH226S）を予備車とする。（上記のニッサン 3BF-CS8E26 改と入替え）

消防署に配置の予備高規格救急自動車（トヨタ CBF-TRH226S）を廃車する。（上記の予備高規格救急自動車と入替え）

葉山国際カンツリー倶楽部より寄贈されたゴルフカートを艤装し、ミニ消防車を作成する。

ビッグレスキューかながわ（神奈川県・葉山町合同総合防災訓練）を南郷上ノ山公園、葉山港及び南郷中学校にて実施する。（10月16日）

消防職員 定員 55名 実員 54名

町

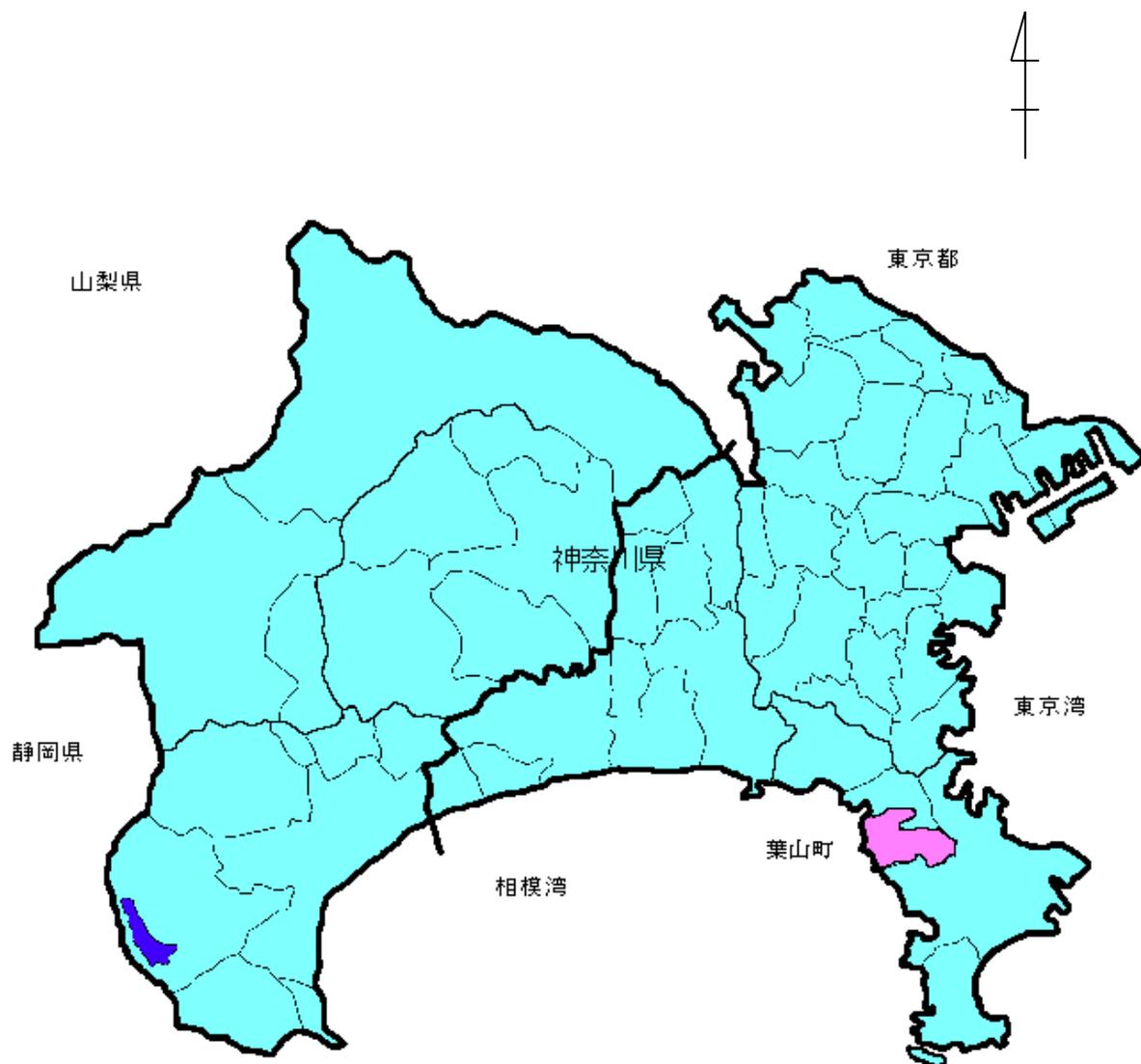
勢



海岸から見る富士山

位 置

葉山町は、三浦半島の西北部に位置し、西は相模湾に面し、北は逗子市、東と南は横須賀市に接しており、首都東京から 50 k m 圏にある。



葉山町役場の所在地 神奈川県三浦郡葉山町堀内 2135 番地
位 置 北緯 35° 16′ 08″ 東経 139° 35′ 24″
町 制 施 行 大正 14 年 1 月 1 日

面積・人口・世帯数

令和5.4.1現在

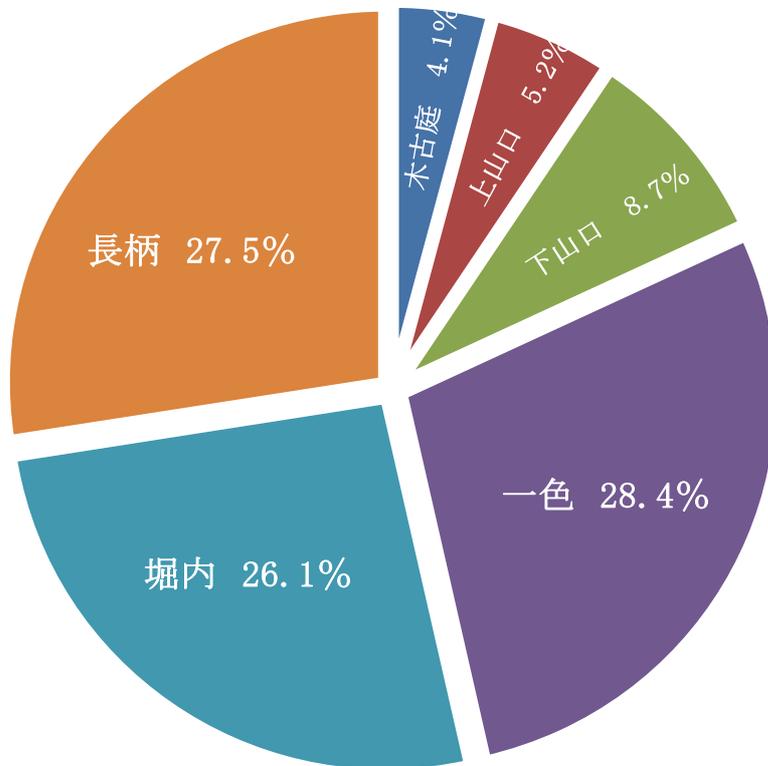
面積	人口			世帯数
17.04 k m ²	32,532人	男	15,388人	14,657世帯
		女	17,144人	

地区別情勢

令和5.4.1現在

区分 地区	人口			世帯数
	男	女	合計	(世帯)
	(人)	(人)	(人)	
木古庭	651	704	1,355	644
上山口	825	864	1,689	815
下山口	1,359	1,477	2,836	1,260
一色	4,331	4,901	9,232	4,093
堀内	3,966	4,514	8,480	3,883
長柄	4,256	4,684	8,940	3,962
合計	15,388	17,144	32,532	14,657

人口

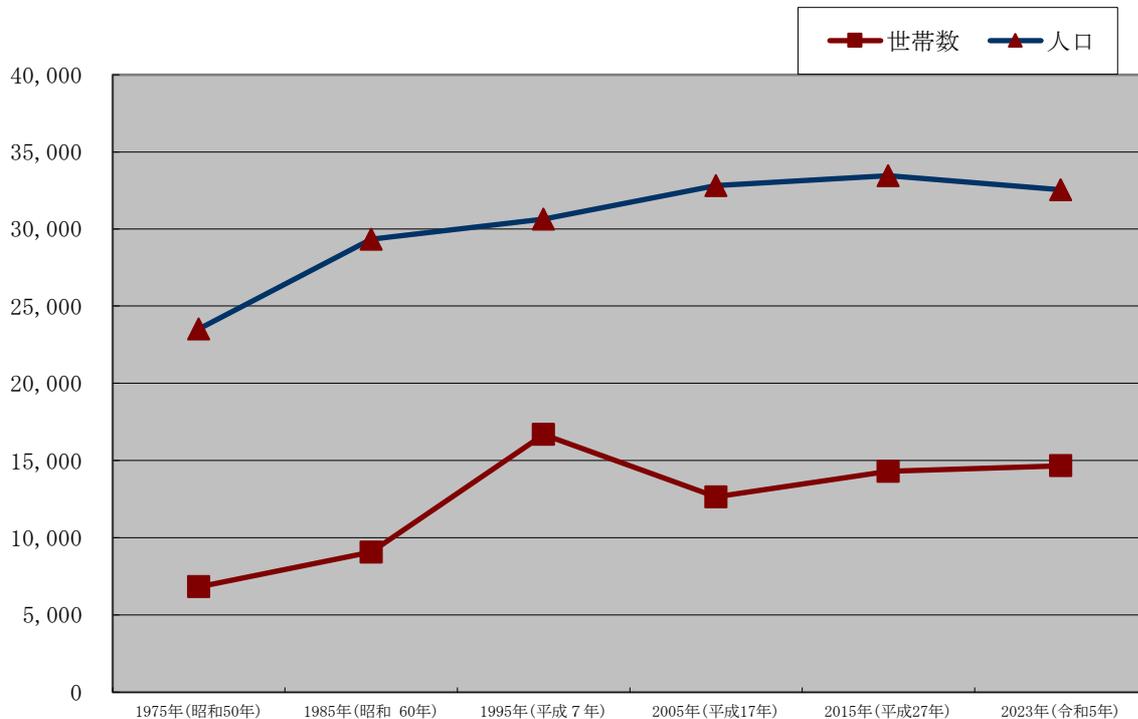


人口の推移

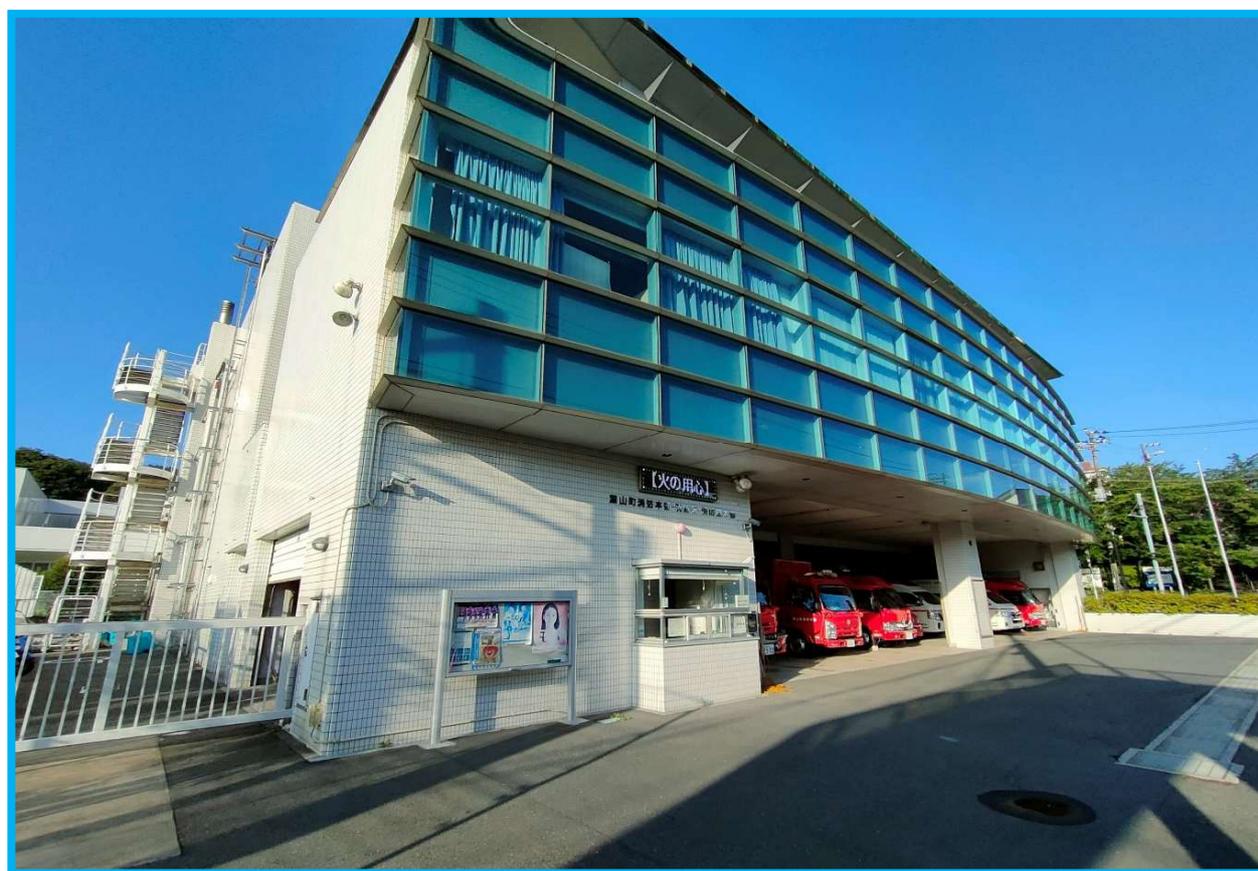
令和5.4.1現在

区分 年	世帯数 (世帯)	人口			1 k m ² あたり	
		男 (人)	女 (人)	合計 (人)	世帯数 (世帯)	人口 (人)
1975年(昭和50年)	6,821	11,413	12,107	23,520	400	1,380
1985年(昭和60年)	9,066	14,199	15,125	29,324	532	1,721
1995年(平成7年)	16,688	14,688	15,947	30,635	979	1,798
2005年(平成17年)	12,647	15,619	17,182	32,801	742	1,925
2015年(平成27年)	14,299	15,836	17,619	33,455	839	1,963
2023年(令和5年)	14,657	15,388	17,144	32,532	860	1,909

世帯数・人口



消 防 情 勢



葉山町消防本部庁舎

消防本部・署・団設置

消防本部設置 昭和 43 年 3 月 29 日

消防署設置 昭和 45 年 4 月 1 日

消防団設置 昭和 22 年 7 月 19 日

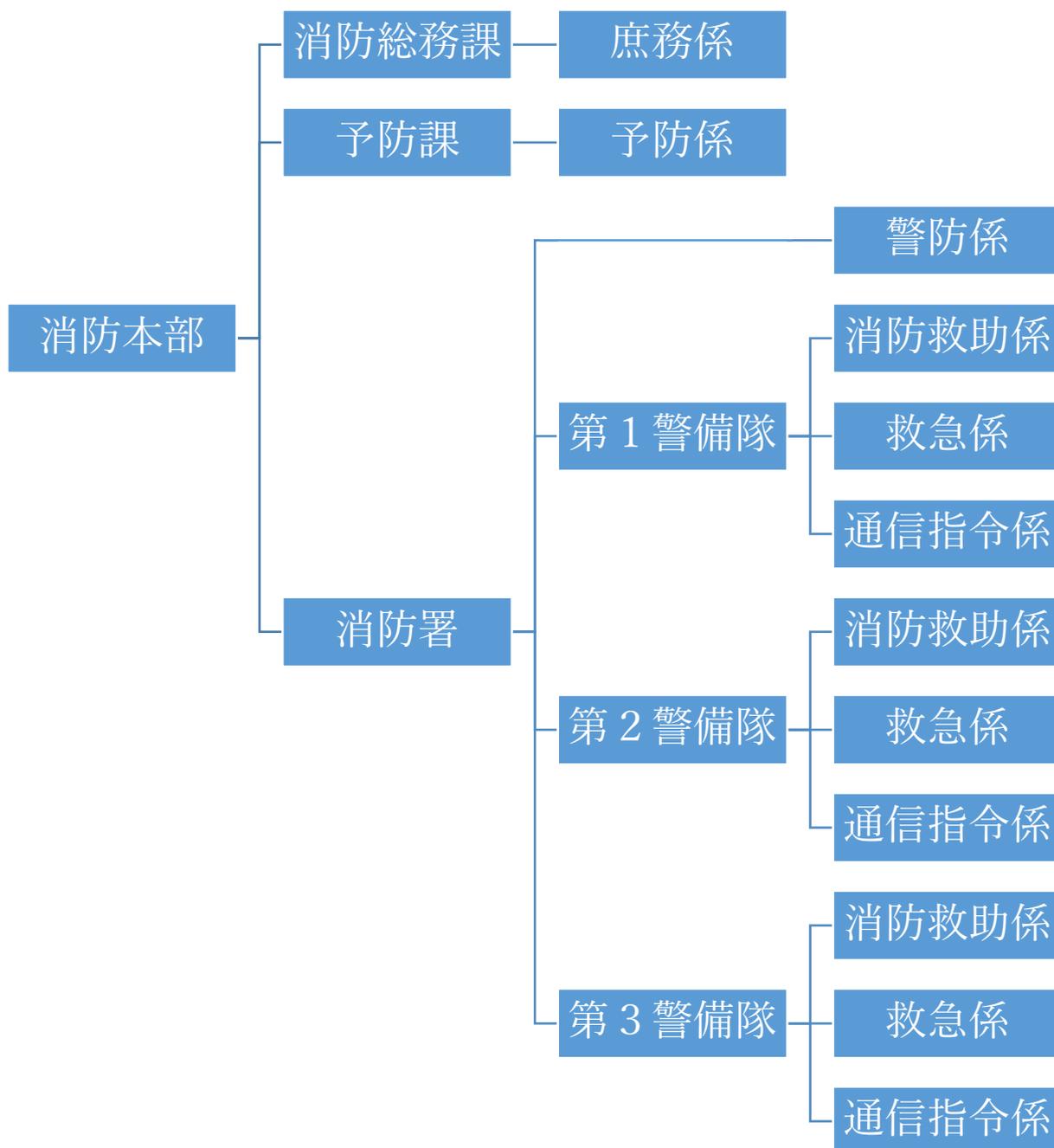
消防本部・消防署の所在地 神奈川県三浦郡葉山町堀内 2050 番地の 10

位置 北緯 35° 27' 12" 東経 139° 58' 50"

消防団本部の所在地 神奈川県三浦郡葉山町堀内 2050 番地の 10

位置 北緯 35° 27' 12" 東経 139° 58' 50"

消防本部・署機構図



消防本部事務分掌

消防総務課

庶務係

- (1) 消防事務の企画、調査、調整及び庶務に関すること。
- (2) 消防組織に関すること。
- (3) 条例及び規則の原案の調整並びに規程の制定又は改廃に関すること。
- (4) 職員の任免、賞罰、服務その他身分に関すること。
- (5) 職員の給与、勤務時間その他勤務条件に関すること。
- (6) 職員の研修及び福利厚生に関すること。
- (7) 公印の管理に関すること。
- (8) 消防長の儀礼交際に関すること。
- (9) ほう賞及び表彰に関すること。
- (10) 公務災害補償等に関すること。
- (11) 消防出初式に関すること。
- (12) 消防の総括統計に関すること。
- (13) 消防団員の任免、服務、身分等に関すること。
- (14) 消防団本部の庶務に関すること。
- (15) 消防団員の訓練の企画及び調整に関すること。
- (16) 消防予算の執行管理の総括に関すること。
- (17) 消防施設の整備及び管理に関すること。
- (18) 被服等の貸与並びに物品の出納及び管理に関すること。
- (19) 消防署との連絡調整に関すること。
- (20) 消防長の庶務及び部内の連絡調整に関すること。
- (21) 指令業務の共同運用に関すること。

予防課

予防係

- (1) 火災予防思想の普及及び調整に関すること。
- (2) 火災予防等の規定及び調整に関すること。
- (3) 建築確認及び許認可に係る同意に関すること。
- (4) 防火管理者講習に係る総合調整に関すること。
- (5) 防火対象物及び消防用設備の指導に係る調整に関すること。
- (6) 火災予防協力組織及び団体の育成指導に関すること。
- (7) 葉山町火災予防条例に基づく届出及び指導（警防係で扱うものを除く。）に関する
こと。
- (8) 危険物施設の検査及び指導に関すること。
- (9) 液化石油ガス等に関すること。
- (10) 危険物取扱者に関すること。
- (11) 危険物施設の許認可に関すること。

- (12) 火災予防の総括（警防係で扱うものを除く。）に関する事。
- (13) 開発行為等の指導（警防係で扱うものを除く。）に関する事。
- (14) 火災の原因及び損害の調査（消防救助係で扱うものを除く。）に関する事。

消防署事務分掌

警 防 係

- (1) 火災に係るり災証明に関する事。
- (2) 搬送証明に関する事。
- (3) 各種催事に係る警備の企画及び調整に関する事。
- (4) 消防救助活動及び救急活動に係る訓練の企画及び調整に関する事。
- (5) 屋外の火災予防の総括に関する事。
- (6) 葉山町火災予防条例に基づく届出（予防係で扱うものを除く。）に関する事。
- (7) 開発行為の指導（予防係で扱うものを除く。）に関する事。
- (8) 消防地理及び消防水利の総括に関する事。
- (9) 消防車両、装備及び資機材の整備及び維持管理に関する事。
- (10) 消防力整備計画に関する事。
- (11) 消防対象物の警防計画に関する事。
- (12) 消防警防計画に関する事。
- (13) 消防相互応援協定等に関する事。
- (14) 緊急消防援助隊に関する事。
- (15) 消防車両の通行制限等の許認可申請に関する事。
- (16) 消防現勢及び消防年報に関する事。
- (17) 消防の総括統計に関する事。
- (18) 関係機関等合同訓練の企画及び調整に関する事。

消防救助係

- (1) 消防活動及び調査に関する事。
- (2) 救助活動に関する事。
- (3) 火災の原因及び損害の調査に関する事。
- (4) 屋外の火災予防の踏査及び指導に関する事。
- (5) 消防地理及び消防水利の踏査に関する事。
- (6) 各種催事に係る警備の実施に関する事。
- (7) 消防救助活動に係る訓練の企画及び調整に関する事。
- (8) 消防団員、事業所等の消防訓練指導等に関する事。
- (9) 消防車両、装備及び資機材の日常点検に関する事。
- (10) 消防本部との調整に関する事。
- (11) 街頭消火器の整備及び維持管理に関する事。

救 急 係

- (1) 救急活動に関すること。
- (2) 応急手当の啓発活動に関すること。
- (3) 救急活動に係る訓練の運用に関すること。
- (4) 救急車両、装備及び資機材の日常点検に関すること。
- (5) 応急手当の普及の総合調整に関すること。
- (6) 救急活動に係る訓練の企画及び調整に関すること。
- (7) 救急関連機関との調整に関すること。
- (8) 救急車両、装備及び資機材の整備及び維持管理に関すること。
- (9) 救急統計に関すること。

通信指令係

- (1) 消防に係る気象観測に関すること。
- (2) 災害通報の受信及び指令に関すること。
- (3) 災害活動機関との連絡及び情報収集に関すること。
- (4) 警防支援情報等の収集、管理及び保護に関すること。
- (5) 消防通信施設の保守管理に関すること。
- (6) 消防通信の技術指導及び訓練に関すること。
- (7) 災害現場の調査及び情報の収集に関すること。
- (8) 火災警報等に関すること。

消防本部・署・団情勢調

人口 32,532 人

世帯数 14,657 世帯

面積 17.04 Km²

令和5.4.1現在

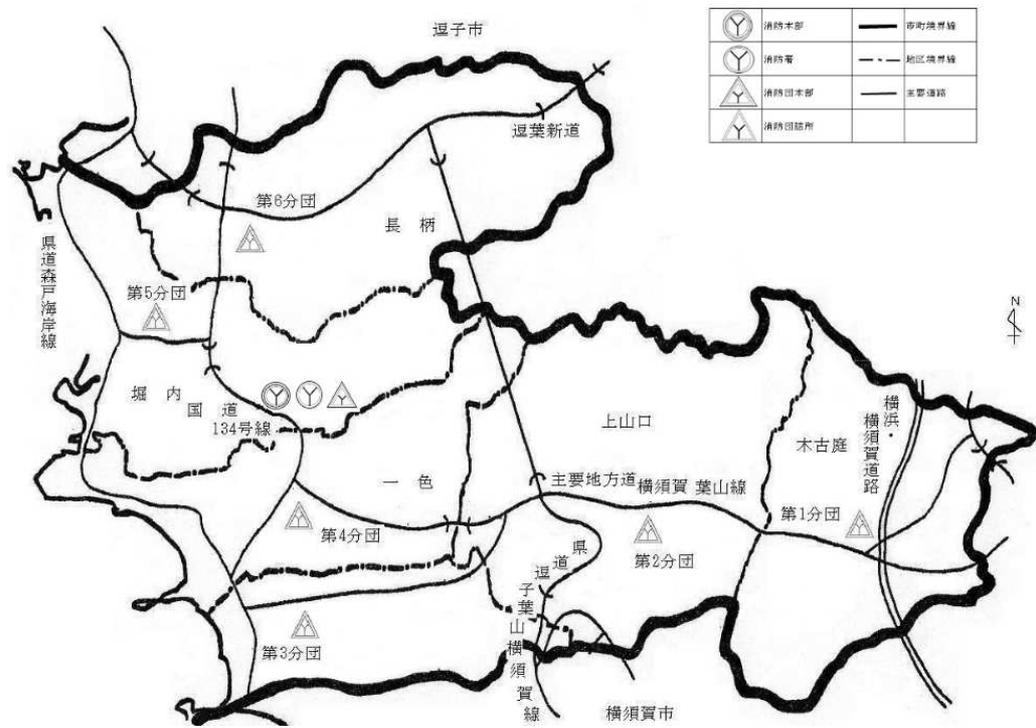
種別 区分	消 防 本 部 ・ 署						消 防 団					
	消 防 吏 員			消 防 ポンプ自動車			消 防 団 員			消 防 ポンプ自動車		
現 況	54人			2台			156人			6台		
細 別	消防吏員1人あたり			消防車1台あたり			消防団員1人あたり			消防車1台あたり		
区 分	面積 (km ²)	人口 (人)	世帯数 (世帯)									
平 均 値	0.3	602	271	8.5	16,266	7,329	0.1	209	94	2.8	5,422	2,443

消防本部・署・団車両等

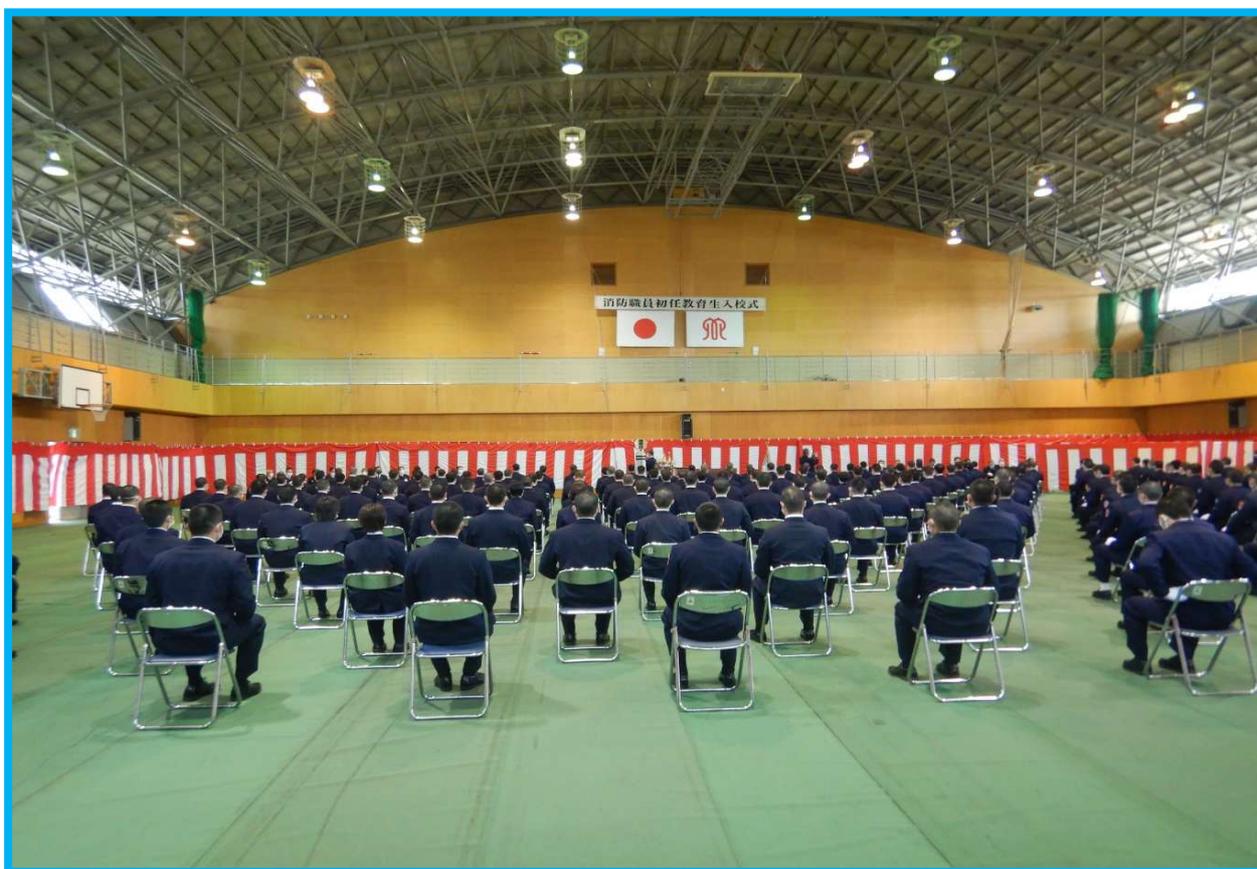
令和5.4.1現在

種別 車両	消 防 本 部 ・ 署	消 防 団	合 計
指 揮 車	1台		1台
消 防 ポンプ自動車	2台	6台	8台
救 助 工 作 車	1台		1台
機 動 積 載 車	1台		1台
小型動力ポンプ付積載車		3台	3台
小型動力ポンプ	1台	3台	4台
高規格救急自動車	3台		3台
機 動 車	1台		1台
資 材 搬 送 車	2台	3台	5台
二 輪 車	2台		2台

消防本部・団本部署所配置図



庶務関係



神奈川県消防学校初任教育生入校式

消防予算額

令和5年度

款	項	目	金額(千円)	比率(%)
消 防 費	消 防 費	常 備 消 防 費	542,315	75.4%
		非 常 備 消 防 費	34,434	4.8%
		消 防 施 設 費	142,132	19.8%
		合 計	718,881	100%

町予算と消防予算の比

(単位：千円)

区分	年度	令和5年度	令和4年度	令和3年度
	町 総 予 算 額	11,647,000	10,345,000	10,086,028
消 防 予 算 額	718,881	642,576	592,835	
比 率 (%)	6.2	6.2	5.9	

消防費と人口・世帯の比

人 口 32,532人

世帯数 14,657世帯

令和5年度

予算額(千円)	1世帯あたり(円)	人口1人あたり(円)
消 防 費 予 算	718,881	22,098
常 備 消 防 費	542,315	16,670
非 常 備 消 防 費	34,434	1,058
消 防 施 設 費	142,132	4,369
町 総 予 算	11,647,000	358,017

消防職員定員・実員

令和5.4.1現在

区分	階級	消防司令長	消防司令	消防司令補	消防士長	消防副士長	消防士	事務吏員	合計
		定員							
実員		1	6	12	12	19	3	1	54
再任用者									

消防職員年齢

令和5.4.1現在

年齢	階級	消防司令長	消防司令	消防司令補	消防士長	消防副士長	消防士	事務吏員	合計
		18～20						1	
21～25						5	2		7
26～30						9			9
31～35					9	4		1	14
36～40				1	3	1			5
41～45				3					3
46～50			1	3					4
51～55			2	5					7
56～60		1	3						4
60歳以上									
合計		1	6	12	12	19	3	1	54
平均年齢		59	55	48	35	28	21	33	40

消防職員勤続年数

令和5.4.1現在

勤続年数	階級	消防司令長	消防司令	消防司令補	消防士長	消防副士長	消防士	事務吏員	合計
		1年未満						1	
1年以上5年未満						4	2		6
5年以上10年未満						10		1	11
10年以上15年未満					8	5			13
15年以上20年未満				3	4				7
20年以上25年未満				1					1
25年以上30年未満			1	3					4
30年以上35年未満			1	5					6
35年以上40年未満		1	4						5
40年以上									
合計		1	6	12	12	19	3	1	54

教育実施状況

令和4年度

教育種別	期間	人員	教育場所
初任教育（第219期）	R4/4/7 ~ R4/9/30	3	神奈川県消防学校
専科教育（警防科）	R4/10/11 ~ R4/10/24	1	神奈川県消防学校
専科教育（救急科）	R4/10/24 ~ R4/12/23	2	神奈川県消防学校
特別教育（操法指導員研修）	R5/4/27	1	神奈川県消防学校
特別教育（女性活躍推進研修）	R5/3/3	1	神奈川県消防学校
特別教育（火災性状特別研修）	R5/1/24 ~ R5/1/26	1	神奈川県消防学校
特別教育（航空特別応援研修）	R5/2/27 ~ R5/3/2	1	神奈川県消防学校
新任消防長科（第33期）	R4/5/10 ~ R4/5/20	1	消防大学校

特殊技能資格者

令和5.4.1現在

資格	階級	消防司令長	消防司令	消防司令補	消防士長	消防副士長	消防士	事務吏員	合計
自動車運転	大型特殊			1					1
	大型			4	3	4			11
	中型			6	8	3			17
	中型（8t限定）	1	5	3					9
	準中型（5t限定）				1	8			9
	普通					4	2		6
危険物	乙種4類		3	12	12	19	2		48
	丙種		4	2					6
予防技術者	防火査察		1	1	4	3			9
	消防用設備等		1	2	2	1			6
	危険物		1	1	2	2	3		9
消防設備士	甲種1類				1				1
	甲種2類				1				1
	甲種3類				1				1
	甲種4類				1				1
	甲種5類				1				1
	乙種6類				2	2			4
	乙種7類				1				1
消防設備点検資格者	点検資格第1種		2	2	1				5
	点検資格第2種		2	2	1				5
可搬消防ポンプ等整備資格者				2					2
第1、2、3級陸上特殊無線技士			6	12	12	19	2		51
ガス溶接技能者			5	5		1			11
小型クレーン技能者			1	7	7	7			22
玉掛技能者			1	7	7	8			23
1級小型船舶操縦士			1	1					2
2級小型船舶操縦士			3	5	4	6			18
第二種酸素欠乏危険作業主任者				2	1				3
特定化学物質等作業主任者				1					1
特定化学物質及び四アルキル鉛等作業主任者				1	1	2			4
毒物劇物取扱責任者						1			1
応急手当指導員			5	12	12	19	2		50
救急救命士			2	6	5	5	2		20
アマチュア無線技士			1	2					3

警 防 関 係



ビッグレスキューかながわ

火災概況

令和4年中

火災件数		3件	
火災種別	建物火災	3件	内訳（全焼1件・ぼや2件）
	林野火災		
	車両火災		
	船舶火災		
	航空機火災		
	その他の火災		
焼損面積		81m ²	
損害見積額		4,135千円	
罹災世帯数		1世帯	
死傷者数			

出火原因別火災発生状況

令和4年中

区分 件数	火災種別	出火原因		
		発火源	経過	着火物
1	建物火災	取灰	余熱で発火	椅子・ソファ
2	建物火災	プラグ	金属の接触部が過熱する	合成樹脂と成形部
3	建物火災	不明	不明	不明

火災発生状況

令和4年中

区分 月	火災種別						死傷者		建物火災													林野 焼損面積	その他 焼損面積	損害見積額												
	建物	林野	車両	船舶	航空機	その他	合計	死者	負傷者	焼損棟数						罹災世帯数			焼損面積					建物	収容物	車両	その他	合計								
										火元棟			延焼数			全損	半損	小損	罹災人員	全焼	半焼								部分焼	ぼや	合計	建物	収容物	車両	その他	合計
										全焼	半焼	部分焼	ぼや	全焼	半焼																					
1	2						2					2							1	1							25	86			111					
2																																				
3																																				
4																																				
5	1						1				1			2							81						682	2,915	427		4,024					
6																																				
7																																				
8																																				
9																																				
10																																				
11																																				
12																																				
合計 (単位)	3						3			1	2	1		2				1	1	81						81			707	3,001	427		4,135			
	件	件	件	件	件	件	人	人	棟	棟	棟	棟	棟	棟	世帯	世帯	世帯	人	人	㎡	㎡	㎡	㎡	㎡	㎡	㎡	㎡	千円	千円	千円	千円	千円				

過去5年																		出火率 (件)														
	平成29年	平成30年	令和元年	令和2年	令和3年	建物	林野	車両	船舶	航空機	その他	合計	死者	負傷者	全焼	半焼	部分焼	ぼや	全損	半損	小損	罹災人員	全焼	半焼	部分焼	ぼや	合計	建物	収容物	車両	その他	合計
平成29年	5	1		4	10	1	3	1	2	2		2	1	6	15	137		72					209		73	15,494	630	630		16,754	3.0	
平成30年	2	1	2		1	6			2					2	4									99			1	124	165	290	1.8	
令和元年	2	1		3	6	2	1		1					1	6	101							101		7.59	22,975	20,620	26	337	43,621	0.6	
令和2年	3	1		4	4	1		1	2					2									4			180	2	337	519	1.2		
令和3年	1			1	2			1								300							300			97,045	2,741		45	99,831	0.6	

火災覚知方法時間別状況

令和4年中

時間	覚知			加入電話	事後聞知	かけつけ	巡回中発	その他	合計
	一一九番								
0 ~ 1									
1 ~ 2									
2 ~ 3									
3 ~ 4									
4 ~ 5									
5 ~ 6									
6 ~ 7									
7 ~ 8									
8 ~ 9									
9 ~ 10					1				1
10 ~ 11									
11 ~ 12									
12 ~ 13									
13 ~ 14									
14 ~ 15					1				1
15 ~ 16									
16 ~ 17									
17 ~ 18									
18 ~ 19	1								1
19 ~ 20									
20 ~ 21									
21 ~ 22									
22 ~ 23									
23 ~ 24									
合計	1				2				3

地区別火災発生状況

令和4年中

地区 区分		単 位	木 古 庭	上 山 口	下 山 口	一 色	堀 内	長 柄	合 計
出火件数		件		2				1	3
内訳	建物	件		2				1	3
	林野	件							
	車両	件							
	船舶	件							
	航空機	件							
	その他	件							
焼損棟数		棟		5				1	6
内訳	全焼	棟		2					2
	半焼	棟							
	部分焼	棟							
	ぼや	棟		3				1	4
建物焼損面積		m ²		81					81
林野焼損面積		m ²							
その他焼損面積		m ²							
罹災世帯数		世帯						1	1
内訳	全損	世帯							
	半損	世帯							
	小損	世帯						1	1
罹災人員		人						1	1
火災損害額		千円		4,024				111	4,135
内訳	建物	千円		3,597				111	3,708
	林野	千円							
	車両	千円		427					427
	船舶	千円							
	航空機	千円							
	その他	千円							

時間別火災発生状況

令和4年中

時間	区分	建物				合計	建以外の火災	建物焼損積 (㎡)	林面野焼損積 (㎡)	そ焼損の面他積 (㎡)	損見積害額 (千円)
		全焼	半焼	部分焼	ぼや						
0	～	1									
1	～	2									
2	～	3									
3	～	4									
4	～	5									
5	～	6									
6	～	7									
7	～	8									
8	～	9				1					111
9	～	10									
10	～	11									
11	～	12									
12	～	13									
13	～	14									
14	～	15									
15	～	16									
16	～	17									
17	～	18									
18	～	19	2			3	5	81			4,024
19	～	20									
20	～	21									
21	～	22									
22	～	23									
23	～	24									
不	明										
合	計		2			4	6	81			4,135

消防署の消防車両等の出場状況

※火災及び救助出場にあつては、他市消防（局）本部、消防団の出場人員、車両を含みます。

令和4年中

月		月												合計
		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	
出場														
火災	件数	2				1							1	4
	出場台数	4				9							6	19
	出場人員	11				37							39	87
救助	件数	2	2	1	1	3	4		3	3		1	2	22
	出場台数	9	7	3	2	15	13		9	10		4	10	82
	出場人員	31	15	7	5	54	33		25	26		11	51	258
危険排除	件数		1		1	2	1		2				3	10
	出場台数		2		3	5	2		4				9	25
	出場人員		6		7	12	6		9				28	68
偵察	件数	3			2	1			3	1	2	1	4	17
	出場台数	6			5	2			6	1	5	2	8	35
	出場人員	15			11	4			12	3	12	5	22	84
その他	件数													
	出場台数													
	出場人員													
調査	件数									1				1
	出場台数									2				2
	出場人員									4				4
PA連携	件数	12	10	12	14	9	14	10	10	10	10	10	15	136
	出場台数	22	17	23	28	16	26	20	18	20	19	20	29	258
	出場人員	54	41	57	69	39	64	50	44	51	47	51	72	639
合計	件数	19	13	13	18	16	19	10	18	15	12	12	25	190
	出場台数	41	26	26	38	47	41	20	37	33	24	26	62	421
	出場人員	111	62	64	92	146	103	50	90	84	59	67	212	1,140

令和4年中出場件数

1 火災出場

種別 区分	建物火災	車両火災	林野火災	その他火災	合計
令和3年中	2			1	3
令和4年中	4				4
比較	2			△ 1	1

2 救助出場

種別 区分	火災	交通事故	水難事故	建物等による事故	ガス及び酸欠事故	機械による事故	その他	合計
令和3年中	1	1	13	5	1		8	29
令和4年中	2	1	7	5			7	22
比較	1		△ 6		△ 1		△ 1	△ 7

3 その他の出場

種別 区分	その他災害		救急支援		調査	合計
	危険排除	偵察	特定救急	救命救急		
令和3年中	15	25	31	74	5	150
令和4年中	10	17	48	88	1	164
比較	△ 5	△ 8	17	14	△ 4	14

4 救急出場

種別 区分	急病	一般負傷	交通事故	移送	自損行為	加害	運動競技	労災事故	火災事故	自然災害	水難事故	医師搬送	資材搬送	その他	合計
令和3年中	1,063	327	79	91	5	2	5	20	1	1	14				1,608
令和4年中	1,181	314	76	78	6	2	8	17	2		7			5	1,696
比較	118	△ 13	△ 3	△ 13	1		3	△ 3	1	△ 1	△ 7			5	88

5 応援状況

(1) 火災救助等受援件数

市 区分	逗子市から葉山町			横須賀市から葉山町			横浜市から葉山町			川崎市から葉山町			合計	
	火災	救助	その他	火災	救助	その他	火災	救助	その他	火災	救助	その他		
令和3年中				1	1			1			1			4
令和4年中								1						1
比較				△ 1	△ 1						△ 1			△ 3

(2) 火災救助等応援件数

市 区分	葉山町から逗子市			葉山町から横須賀市			合計
	火災	救助	その他	火災	救助	その他	
令和3年中		1					1
令和4年中		1		2			3
比較				2			2

※7月の静岡県熱海市への緊急消防援助隊の出場は含まれていません。

(3) 救急受援件数

市 区分	逗子市から葉山町	横須賀市から葉山町	合計
令和3年中	11	16	27
令和4年中	15	19	34
比較	4	3	7

(4) 救急応援件数

市 区分	葉山町から逗子市	葉山町から横須賀市	合計
令和3年中	7		7
令和4年中	23		23
比較	16		16

過去5年間の山中救助件数

発生年	平成30年	令和元年	令和2年	令和3年	令和4年
発生件数	2	2	3	5	4
うち ヘリ救助件数	1	1		1	1
日中件数	2	2	3	2	4
夜間件数				3	
救助人員	5	2	3	5	8
救急搬送者数	1	1	2		2

年別所要時間別山中救助（覚知～救出完了）件数

所要時間 \ 発生年	平成30年	令和元年	令和2年	令和3年	令和4年
～ 30分					
30分 ～ 1時間		1			
1時間 ～ 1時間30分			1	1	2
1時間30分 ～ 2時間				3	
2時間 ～ 2時間30分	2		1	1	
2時間30分 ～ 3時間					1
3時間 ～ 3時間30分		1			1
3時間30分 ～ 4時間					
4時間 ～ 4時間30分			1		
4時間30分 ～ 5時間					
5時間 ～ 5時間30分					
5時間30分 ～ 6時間					
6時間 ～ 6時間30分					
6時間30分 ～ 7時間					
合計	2	2	3	5	4

消防本部・署現有車両機械

令和5.4.1現在

用途	車両会社名	登録年月日	原動機ポンプ					無線呼出名称
			エンジン社名	気筒容積(CC)	ポンプ社名	ポンプ型式	ポンプ級別	
消防ポンプ自動車	日野	平成27年 12月7日	日野	4,000	モリタ	1段 ポリュート式	A-2	はやましき ぼんぷ1
消防ポンプ自動車	日野	令和3年 12月17日	日野	4,000	モリタ	1段 ポリュート式	A-2	はやま ぼんぷ2
救助工作車	日野	平成25年 2月4日	日野	6,400				はやま きゅうじょ 1
機動積載車	ニッサン	平成19年 8月29日	ニッサン	650				はやま きどう1
救急自動車	ニッサン	平成30年 12月18日	ニッサン	2,480				きゅう きゅう はやま1
救急自動車	ニッサン	令和5年 2月17日	ニッサン	2,480				きゅう きゅう はやま2
非常用救急自動車	トヨタ	平成26年 11月26日	トヨタ	2,690				
機動車	ニッサン	平成23年 6月15日	ニッサン	1,990				はやま きどう2
指揮車	ニッサン	平成15年 7月28日	ニッサン	1,990				はやま しき1
資機材搬送車	いすゞ	平成25年 8月21日	いすゞ	2,990				はやま しざい1
資材車	ニッサン	平成26年 7月30日	ニッサン	650				はやま しざい2
二輪車	ホンダ	平成5年 9月9日	ホンダ	90				
二輪車	ホンダ	平成9年 7月28日	ホンダ	50				
小型動力ポンプ		平成28年 3月16日	トーハツ	209	トーハツ	VF21BS	C-1	

警防用機器資材

令和5.4.1現在

用途	一般救助用								重量物排除用			
名称	かぎ付はしご	三連はしご	ワイヤーはしご	空気式救助マット	救命索発射銃	救助縛帯	サーバイバースリング	平担架	マンホール救助器具	救助用簡易起重機	油圧救助器具 (スプレッダー)	救助用油圧ジャッキ
数量	3	4	2		1	10	2	3			1	2

用途	重量物排除用			切断用												
名称	可搬式ウインチ	マット型空気ジャッキ	チェーンブロック	油圧救助器具 (カッター)	エアソー	エンジンカッター	電動カッター	酸素溶断機	チェーンソー	鉄筋カッター						
数量	6	1		1	1	4	1		7	13						

用途	測定用					破壊用		呼吸保護用				
名称	複合ガス検知器 (酸素濃度測定器含む)	放射能測定器 (ポケット含む)	有毒ガス測定器	マルチガスモニター ポツケツタブル	可燃性ガス警報器	削岩機	ハンマードリル	空気呼吸器	酸素呼吸器	簡易呼吸器	防毒マスク	送排風機一式
数量	3	20	1			1	2	16			25	1

用途	隊員保護用												
名称	耐電手袋	耐電衣	耐電ズボン	耐電長靴	耐熱防護服	放射能防護服	陽圧式化学防護服	化学防護服 (簡易防護服含む)	防毒衣				
数量	15	2	2	2		5	2	39					

用途	水難救助用				画像探索機				その他				
名称	潜水器具一式	救命胴衣	救命ボート	船外機	熱画像直視装置	夜間用暗視装置	ファイバースコープⅢ型	画像探索機Ⅱ型	除染設備一式	ワンタッチテント	エアートtent	画像伝送装置一式	
数量		49	1	1	1			1			2		

消防水利現勢

令和5.4.1 現在

種別		地区							合計
		木古庭	上山口	下山口	一色	堀内	長柄		
公設消防水利	消火栓	公設消火栓	29	59	40	121	112	86	447
	防火水槽	20 m ³ 以上 40 m ³ 未満			1	6	4	2	13
		40 m ³ 以上 100 m ³ 未満	1	14	6	12	16	15	64
		防火水槽小計	1	14	7	18	20	17	77
	指定消防水利	消火栓	私設消火栓			1	1		1
防火水槽		20 m ³ 以上 40 m ³ 未満	1	4	3	8	9	1	26
		40 m ³ 以上 100 m ³ 未満	2	9	4	21	18	2	56
		100 m ³ 以上	2	1				1	4
		防火水槽小計	5	14	7	29	27	4	86
その他		プール等		1		1	3	2	7
		その他小計		1		1	3	2	7
その他		海・河川					1	3	
合計			35	88	55	171	165	110	624

空地の枯草繁茂状況及び刈取り状況調査結果

令和4年度

地区		調査対象	繁茂（未刈取り）	繁茂なし （刈取り・該当なし）
木古庭	第1管理状況調査	5	2	3
	第2管理状況調査	2	1	1
	第3管理状況調査	1		1
	最終管理状況調査			
上山口	第1管理状況調査	10	4	6
	第2管理状況調査	4	2	2
	第3管理状況調査	2	1	1
	最終管理状況調査	1	1	
下山口	第1管理状況調査	6	1	5
	第2管理状況調査	1	1	
	第3管理状況調査	1	1	
	最終管理状況調査	1		1
一色	第1管理状況調査	10	4	6
	第2管理状況調査	4	3	1
	第3管理状況調査	3		3
	最終管理状況調査			
堀内	第1管理状況調査	14	5	9
	第2管理状況調査	5	4	1
	第3管理状況調査	4	3	1
	最終管理状況調査	3	1	2
長柄	第1管理状況調査	16	11	5
	第2管理状況調査	11	10	1
	第3管理状況調査	10	5	5
	最終管理状況調査	5	5	
合計	第1管理状況調査	61	27	34
	第2管理状況調査	27	21	6
	第3管理状況調査	21	10	11
	最終管理状況調査	10	7	3

過去3年間の枯草繁茂状況

調査年度		調査対象	繁茂(未刈取り)	繁茂なし(刈取り・該当なし)
令和3年度	第1回管理状況調査	66	35	31
	最終管理状況調査	10	8	2
令和2年度	第1回管理状況調査	66	32	31
	最終管理状況調査	8	7	1
令和元年度	第1回管理状況調査	73	40	33
	最終管理状況調査	13	12	1

注) 調査対象は次の基準に該当した空地に繁茂する枯草。

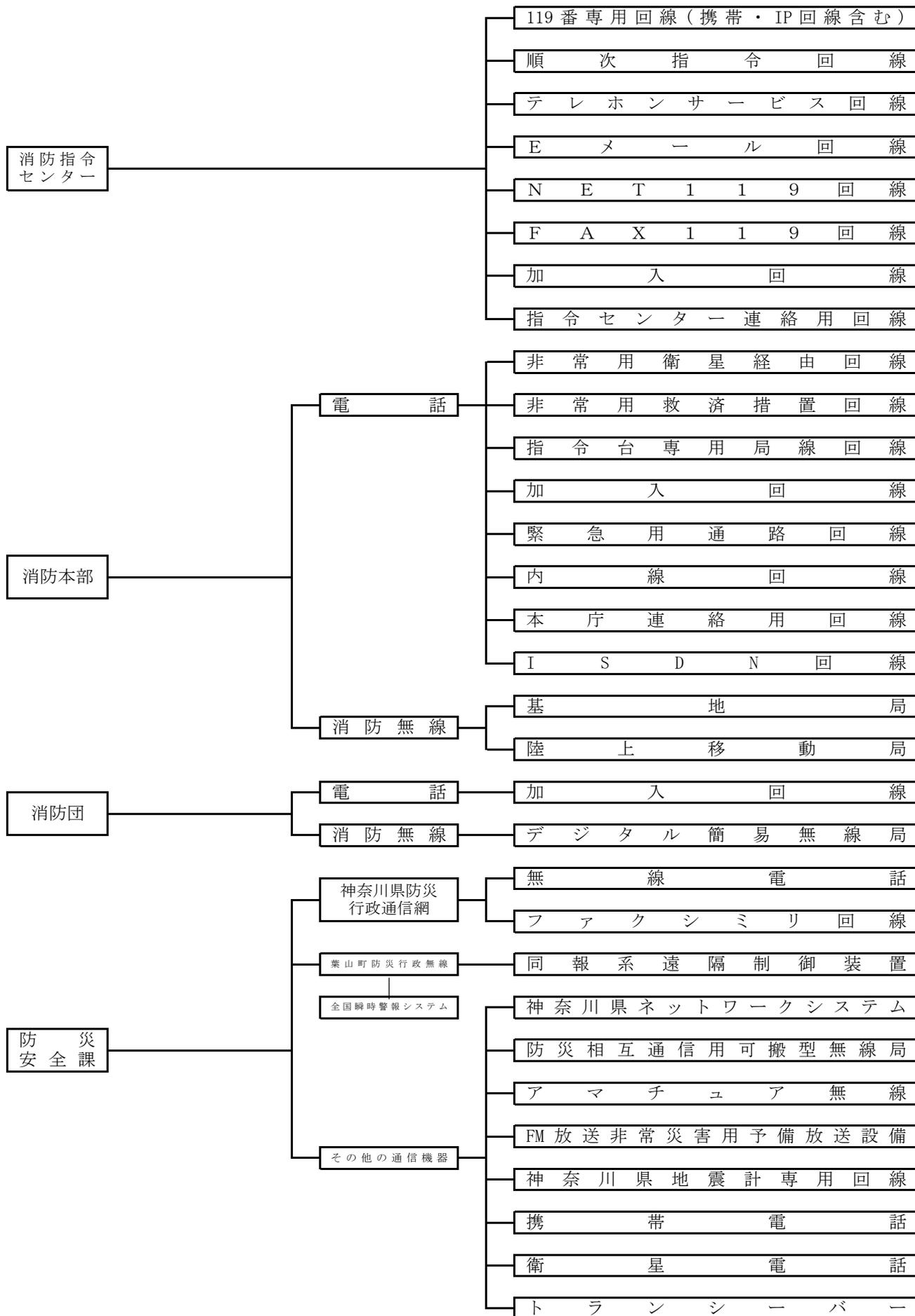
1. 建築物及び危険物施設等から10メートル以内に繁茂し、かつ高さが50センチメートル以上である場合。
2. 宅地造成地内に繁茂する枯草で、高さが50センチメートル以上である場合。
3. その他、特に火災予防上危険である場合。

指 令 関 係



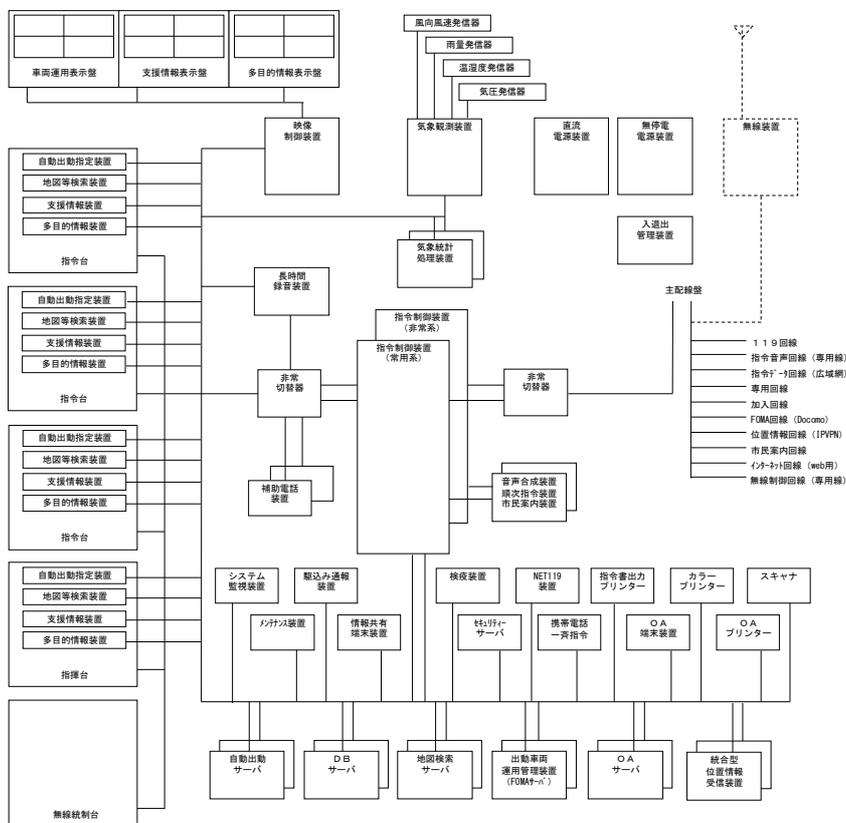
横須賀市・葉山町消防指令センター

町の通信施設

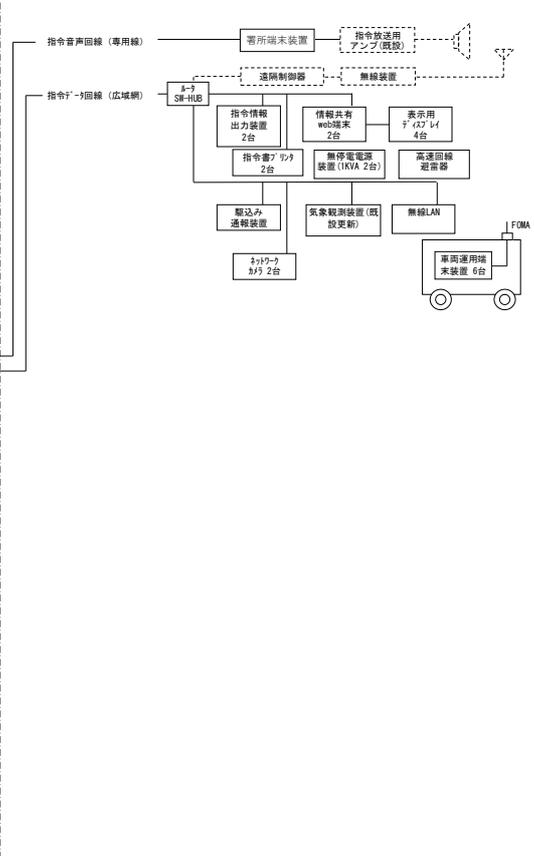


消防通信システム系統図

横須賀市・葉山町消防指令センター



葉山町消防署



消防指令センター・消防本部・消防署回線

令和5.4.1現在

種別		数量
消 防 指 令 セ ン タ ー	119番専用回線(携帯・IP回線含む)	18
	順次指令回線	8
	テレホンサービス回線	10
	Eメール回線	1
	NET119回線	1
	FAX119回線	1
	加入回線	1
	指令センター連絡用回線	1
消 防 本 部 ・ 消 防 署	非常用衛星経由回線	1
	非常用救済措置回線	2
	指令台専用局線回線	2
	緊急用通路回線(着信専用)	1
	ISDN回線(県所有1回線含む)	2
	電話交換装置	1
	主配線盤(MDF)	1
	加入回線(ダイヤルイン・多機能)	6
	内線回線	66
	本庁(役場)連絡用回線	6

消防指令センター・消防本部・消防署通信機器

1 指令情報施設 (消防指令センター)

令和5.4.1現在

名 称		数量	名 称		数量
指令装置	指 令 台	6 台	表示盤	車 両 運 用 表 示 盤	4 面
	自 動 出 動 サ ー バ	1 台		支 援 情 報 表 示 盤	4 面
	デ ー タ ベ ー ス サ ー バ	1 台		映 像 制 御 P C	1 台
	自 動 デ ー タ メ ン テ ナ ン ス 装 置	1 台		多 目 的 情 報 表 示 盤	4 面
	表 示 盤 接 続 用 端 末 装 置	3 台		シ ス テ ム 制 御 装 置	1 台
	事 案 管 制 装 置	3 台		映 像 操 作 タ ッ チ パ ネ ル P C	1 台
	多 目 的 情 報 表 示 装 置	3 台	駆 込 通 報 装 置 受 付 用 P C	1 台	
	自 動 出 動 指 定 装 置	3 台	駆 込 通 報 装 置 受 付 用 電 話 機	1 台	
	地 図 検 索 サ ー バ	2 台	気 象 デ ー タ 処 理 装 置	2 台	
	地 図 デ ー タ メ ン テ ナ ン ス 装 置	1 台	順 次 指 令 装 置	1 台	
	地 図 検 索 装 置	3 台	音 声 合 成 装 置	1 台	
	長 時 間 録 音 装 置	1 台	シ ス テ ム 監 視 装 置	1 台	
	非 常 用 指 令 設 備	1 式	無 停 電 電 源 装 置	2 式	
	指 令 制 御 装 置	1 式	直 流 電 源 装 置	1 式	
	指 令 メ ン テ ナ ン ス サ ー バ	1 台	携 帯 電 話 一 斉 指 令 装 置	1 台	
デ ー タ メ ン テ ナ ン ス 装 置	1 台	高 速 電 源 避 雷 器	2 台		
携 帯 電 話 ・ I P 電 話 受 信 転 送 装 置	4 枚	高 速 回 線 避 雷 器	100 回線		
指揮台	指 揮 台	2 台	N E T 1 1 9 ク ラ イ ア ン ト	1 台	
	事 案 管 制 装 置	1 台	無 線 統 制 台 統 制 席	1 台	
	多 目 的 情 報 表 示 装 置	1 台	無 線 統 制 台 個 別 席	7 台	
	自 動 出 動 指 定 装 置	1 台	位 置 情 報 受 信 サ ー バ	1 台	
	地 図 等 検 索 装 置	1 台			
指令電送装置	自 動 出 動 サ ー バ	1 台			
	ウ イ ル ス 対 策 サ ー バ	2 台			
	検 疫 P C	1 台			

2 指令情報施設 (消防本部・消防署)

令和5.4.1現在

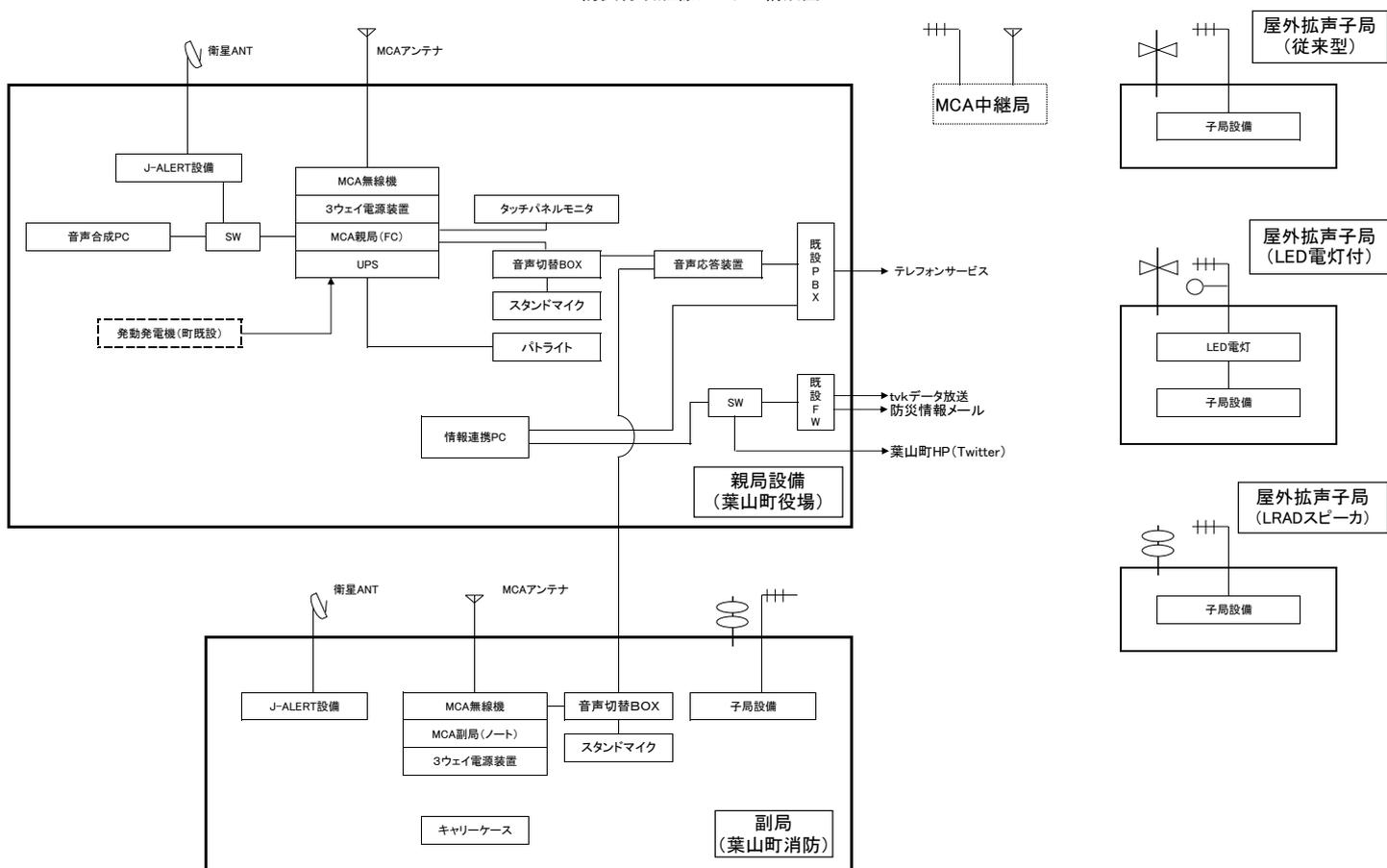
名 称		数量	名 称		数量
受 令 端 末 装 置		1 台	駆 込 通 報 装 置		1 台
指 令 情 報 出 力 装 置		2 台	風 向 風 速 発 信 器		1 式
情 報 共 有 W E B 端 末		2 台	雨 量 発 信 器		1 式
表 示 用 液 晶 デ ィ ス プ レ イ		4 台	気 象 総 合 変 換 器		1 式
無 停 電 電 源 装 置		2 台	G P S 時 計 装 置		1 式
高 速 回 線 避 雷 器		1 式	気 象 デ ー タ 処 理 装 置		1 台
高 速 電 源 避 雷 器		1 式	車 両 運 用 端 末 装 置		6 台
ネ ッ ト ワ ー ク カ メ ラ		2 台			

無線局配置状況

令和5.4.1現在

種別	呼出名称	空中線電力(W)	摘要
基地局	葉山消防	8	1CH(消防波) 2CH(救急波) 送受信所: 葉山町消防本部内 通信所: 横須賀市消防局内
陸上移動局	葉山広報 1	5	可搬型
	葉山指揮本部 1		
	葉山指揮 1		
	葉山指揮ポンプ 1		
	葉山ポンプ 2		
	葉山救助 1		
	救急葉山 1		
	救急葉山 2		
	葉山機動 1		
	葉山機動 2		
	葉山資材 1		
	葉山資材 2		
	葉山指揮101		2
	葉山指揮ポンプ101		
	葉山ポンプ201		
	葉山救助101		
	救急葉山101		
	救急葉山201		
	葉山機動101		
	葉山機動201		
	葉山資材101		
	葉山資材201		
	葉山101		
	葉山指揮301~303	1	携帯型 (署活系無線)
	葉山指揮ポンプ301~304		
	葉山ポンプ301~304		
	葉山救助301~304		
救急葉山301~304			
葉山301、302			

防災行政無線システム構成図



防災通信機器等

1 通信施設

(1) 葉山町防災行政無線

令和5.4.1現在

種 別	台数	設 置 場 所
固定系	1式	役 場 防 災 行 政 無 線 室
	1式	消 防 作 戦 室 (防 災 行 政 無 線 室)
	33台	町 内 各 箇 所
移動系	30台	役場・各学校・その他関係機関等 (次頁参照)

(2) 神奈川県防災行政通信網

令和5.4.1現在

種 別	設 置 場 所	台数	備 考
防 災 端 末	消 防 本 部 ・ 役 場	3台	各 関 係 部 署 に 配 置
防 災 電 話 機	消 防 本 部 ・ 役 場	6台	各 関 係 部 署 に 配 置

ア 防災電話機配置場所及び番号

令和5.4.1現在

設 置 場 所	番 号	設 置 場 所	番 号
通 信 指 令 係	3203	防 災 安 全 課	3200
消 防 署 事 務 室	2200	防 災 安 全 課	3201
防 災 安 全 課	3202	防 災 安 全 課	衛星専用

2 その他通信機器等

令和5.4.1現在

種 別	設 置 場 所	台数	備 考
県災害情報管理システム	総務部防災安全課 消防本部事務室	1式	神奈川県情報セキュリティクラウドにて接続
アマチュア無線局	消防本部事務室	2基	代表 葉山アマチュア無線クラブ
県計測震度計	消防作戦室 (防災行政無線室)	1式	神奈川県防災行政通信網にて接続
衛星電話	総務部防災安全課	4台	災 害 非 常 用
携帯電話	総務部防災安全課	11台	災 害 非 常 用

3 防災用移動系無線局（MCA無線）

令和5.4.1現在

種	別	呼出し名称	配 置 先
MCA無線	1 可搬型	は や ま 101	災害対策本部用
	2 可搬型	は や ま 102	葉山町消防本部
	3 可搬型	は や ま 103	葉山警察署警備課
	4 可搬型	は や ま 104	災害対策本部用
	5 可搬型	は や ま 105	災害対策本部用
	6 可搬型	は や ま 106	災害対策本部用
	7 可搬型	は や ま 107	上山口小学校(指定避難所)
	8 可搬型	は や ま 108	一色小学校(指定避難所)
	9 可搬型	は や ま 109	葉山小学校(指定避難所)
	10 可搬型	は や ま 110	長柄小学校(指定避難所)
	11 可搬型	は や ま 111	葉山中学校(指定避難所)
	12 可搬型	は や ま 112	南郷中学校(指定避難所)
	13 携帯型	は や ま 201	福祉文化会館(指定緊急避難所)
	14 携帯型	は や ま 202	木古庭会館・児童館(指定緊急避難所)
	15 携帯型	は や ま 203	上山口会館・児童館(指定緊急避難所)
	16 携帯型	は や ま 204	下山口会館・児童館(指定緊急避難所)
	17 携帯型	は や ま 205	葉桜会館・児童館(指定緊急避難所)
	18 携帯型	は や ま 206	県立逗子葉山高校(指定緊急避難所)
	19 携帯型	は や ま 207	南郷上ノ山公園
	20 携帯型	は や ま 208	災害対策本部用
	21 携帯型	は や ま 209	災害対策本部用
	22 携帯型	は や ま 210	災害対策本部用
	23 携帯型	は や ま 211	災害対策本部用
	24 携帯型	は や ま 212	災害対策本部用
	25 車載型	は や ま 301	消防本部指揮車
	26 車載型	は や ま 302	役場共用車6号車
	27 車載型	は や ま 303	役場共用車9号車
	28 車載型	は や ま 304	役場共用車3号車
	29 車載型	は や ま 305	道路河川課専用車
	30 車載型	は や ま 306	道路河川課専用車

消防団通信機器等

1 無線・有線施設

令和5.4.1現在

番号	設 備	台 数
1	デ ジ タ ル 簡 易 無 線 局	65 台
2	加 入 電 話	6 台

2 無線局

令和5.4.1現在

規 格	局 数	設 置 場 所	台 数	出 力 (W)
デ ジ タ ル 簡 易 無 線 局	65局	本 団	15 台	5 W
		第 1 分 団	8 台	5 W
		第 2 分 団	8 台	5 W
		第 3 分 団	8 台	5 W
		第 4 分 団	8 台	5 W
		第 5 分 団	10 台	5 W
		第 6 分 団	8 台	5 W

119番着信件数（固定・IP電話）

令和4年中

種別	火災	救急	救助	その他 災害	他都市 転送	問い合 わせ	いたずら	間違い 無言	その他	訓練	試験	合計
件数	3	891	1	14	4	51	3	29	85	83	54	1,218

119番着信件数（携帯電話）

令和4年中

種別	火災	救急	救助	その他 災害	他都市 転送	問い合 わせ	いたずら	間違い 無言	その他	訓練	試験	合計
件数	3	788	9	9	55	94	1	86	158	26	4	1,233

NET119を利用しての通報件数

令和4年中

月別	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
回数													

NET119登録者数

令和5.4.1現在

登録者数
17

気 象 関 係



長者ヶ崎海岸

月別気象調
気温(°C)

令和4年中

月別種別	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	年間平均
最高	12.9	15.3	欠測	欠測	27.9	31.6	33.1	33.9	31.4	28.3	24.4	16.4	/
(起日)	(4日)	(27日)			(30日)	(27日)	(31日)	(24日)	(4日)	(2日)	(3日)	(4日)	
最低	-2.8	-1.4	欠測	欠測	10.5	15.2	21.4	20.2	17.3	9.7	9.1	0.7	/
(起日)	(1日)	(6日)			(1日)	(8日)	(9日)	(30日)	(21日)	(27日)	(16日)	(20日)	
平均	5.2	5.7			18.6	22.1	26.3	26.9	24.6	17.8	15.2	8.4	17.2

※機器不良により、3月及び4月は欠測

湿度(%)

月別種別	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	年間平均
最高	98.5	96.3	99.9	99.9	99.9	99.9	99.9	99.9	99.9	99.9	99.9	99.9	/
(起日)	(11日)	(19日)	(27日)	(27日)	(31日)	(24日)	(28日)	(31日)	(30日)	(18日)	(30日)	(13日)	
最低	16.5	9.6	14.6	25.9	31.2	26.8	56.1	47.1	42.5	30.0	36.9	19.6	/
(起日)	(14日)	(17日)	(6日)	(1日)	(11日)	(1日)	(8日)	(29日)	(28日)	(20日)	(16日)	(23日)	
平均	50.8	52.3	66.8	79.7	79.0	84.6	87.6	86.1	83.1	75.5	72.1	60.9	73.3

風速(m/s)

月別種別	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	年間平均
最高	15.5	16.7	19.6	23.7	21.2	16.5	14.2	22.3	21.5	16.1	22.0	19.4	/
風向	北西	西	西北西	南	南	南	南	南	南	南	南	北西	
(起日)	(13日)	(27日)	(5日)	(26日)	(27日)	(24日)	(22日)	(13日)	(19日)	(11日)	(29日)	(14日)	/
平均	1.5	1.6	1.8	2.0	1.8	1.7	2.1	2.1	1.9	1.6	1.6	1.8	

雨量(mm)・積雪量(cm)

月別種別	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	年間平均
日最大	11.0	13.0	38.5	47.5	61.0	32.5	55.5	83.0	52.0	39.0	21.0	11.5	/
(起日)	(11日)	(13日)	(18日)	(29日)	(13日)	(6日)	(26日)	(13日)	(18日)	(7日)	(23日)	(5日)	
降雨日数	3日	4日	11日	14日	14日	11日	10日	7日	10日	8日	8日	6日	/
降雨量	19.0	32.5	96.0	284.0	198.5	109.5	142.5	104.5	182.0	50.0	55.5	25.5	
積雪日数	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	/
積雪量	80	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	

風向頻度調(%)

令和4年中

風向	月別	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
	平均	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月
北	4.6	7.3	5.5	4.3	5.2	3.5	3.3	1.3	2.0	3.6	6.6	8.3	4.1
北北東	7.8	12.1	7.3	9.1	8.3	5.9	6.2	1.7	4.1	7.6	10.6	11.6	9.2
北東	12.0	17.4	15.4	14.3	13.4	8.6	6.8	2.2	6.2	12.8	15.6	14.9	16.9
東北東	19.2	26.5	27.9	18.7	15.1	16.0	11.3	6.9	12.2	19.8	19.9	27.2	29.3
東	9.7	10.5	9.5	8.9	7.9	8.3	8.9	6.9	8.3	17.0	8.8	11.7	9.1
東南東	4.4	3.2	3.5	3.5	4.6	4.3	5.7	5.1	5.3	6.1	3.3	4.7	3.0
南東	3.2	2.0	2.3	3.0	3.2	3.1	5.2	5.3	4.2	3.5	2.0	3.0	1.3
南南東	5.1	1.4	1.5	3.7	5.4	9.1	8.9	11.7	10.0	5.5	1.4	1.3	0.8
南	12.1	1.6	2.0	8.7	12.8	17.2	19.8	34.4	27.9	11.5	3.8	4.2	1.4
南南西	6.3	1.7	3.4	8.2	8.7	11.0	11.3	12.3	8.9	2.6	4.6	1.3	1.4
南西	3.0	0.7	1.6	4.1	3.6	4.7	5.7	5.9	5.0	1.9	0.9	0.5	0.9
西南西	0.7	0.5	0.7	0.8	0.7	0.8	1.1	0.9	1.0	0.7	0.6	0.5	0.5
西	0.8	0.8	1.4	1.3	0.7	0.5	0.7	0.4	0.6	0.4	1.1	0.7	1.4
西北西	2.2	3.5	5.2	2.1	1.0	0.8	0.5	0.6	1.1	0.5	2.0	1.2	8.2
北西	4.2	4.2	7.0	4.5	3.2	2.7	1.7	2.0	1.3	2.6	8.4	3.7	8.5
北北西	4.8	6.6	5.8	4.8	6.2	3.5	2.9	2.4	1.9	3.9	10.4	5.2	4.0
静穏	1.9	2.4	0.6	1.3	1.3	3.1	1.9	2.4	2.2	2.4	1.3	1.4	1.9

予 防 関 係



2022 防火ポスターコンクール表彰式

防火対象物・防火管理者選任状況

(防火対象物数は延べ面積150㎡以上)

令和5.4.1現在

用途		区分	防火対象物数	防火管理者 選任義務対象物	防火管理者 選任届出済対象物
1 項	イ	劇場等			
	ロ	公会堂等	15	20	20
2 項	イ	キャバレー等			
	ロ	遊技場等			
	ハ	性風俗関連店舗等			
	ニ	カラオケボックス等			
3 項	イ	待合等			
	ロ	飲食店等	20	16	16
4 項		物品販売店等	29	20	20
5 項	イ	旅館等	26	15	15
	ロ	共同住宅等	192	24	24
6 項	イ	病院等	6	2	2
	ロ	社会福祉施設等（入所）	15	15	14
	ハ	社会福祉施設等（通所）	10	11	11
	ニ	幼稚園等	7	7	7
7 項		学校等	17	20	20
8 項		図書館等	4	3	3
9 項	イ	蒸気浴場等			
	ロ	公衆浴場等			
10 項		停車場等			
11 項		神社等	17	4	4
12 項	イ	工場等	7	1	1
	ロ	スタジオ等			
13 項	イ	駐車場等	4	1	1
	ロ	格納庫等			
14 項		倉庫等	11		
15 項		事業所等	47	13	13
16 項	イ	特定複合用途	71	27	27
	ロ	非特定複合用途等	22	2	2
16項の2		地下街			
16項の3		準地下街			
17 項		重要文化財等	1	1	1
18 項		アーケード			
19 項		山林			
20 項		舟車			
合 計			521	202	201

3階建て以上防火対象物状況

(延べ面積150㎡以上)

令和5.4.1現在

用途		階数	3	4	5	6	7	8	合計
1 項	イ	劇場等							
	ロ	公会堂等	2						2
2 項	イ	キャバレー等							
	ロ	遊技場等							
	ハ	性風俗関連店舗等							
	ニ	カラオケボックス等							
3 項	イ	待合等							
	ロ	飲食店等	1						1
4 項		物品販売店等	1						1
5 項	イ	旅館等	9	4					13
	ロ	共同住宅等	36	13	9	8	2	1	69
6 項	イ	病院等	1						1
	ロ	社会福祉施設等（入所）	5	3	1				9
	ハ	社会福祉施設等（通所）	1						1
	ニ	幼稚園等							
7 項		学校等	11						11
8 項		図書館等							
9 項	イ	蒸気浴場等							
	ロ	公衆浴場等							
10 項		停車場等							
11 項		神社等	1						1
12 項	イ	工場等	1						1
	ロ	スタジオ等							
13 項	イ	駐車場等							
	ロ	格納庫等							
14 項		倉庫等	1						1
15 項		事業所等	12	2					14
16 項	イ	特定複合用途	32	5	1	1			39
	ロ	非特定複合用途等	11	4	1				16
16 項の2		地下街							
16 項の3		準地下街							
17 項		重要文化財等							
18 項		アーケード							
19 項		山林							
20 項		舟車							
合計			125	31	12	9	2	1	180

防火対象物届出状況

令和4年度

用途		届出	防火管理者選任（解任）届出書	消防計画作成（変更）届出書	統括防火管理者選任（解任）届出書	全体についての消防計画作成（変更）届出書	防火対象物点検結果報告書	特例認定適用申請書	圧縮アセチレンガス等貯蔵又は取扱いの届出書	消防用設備等設置届出書	消防用設備等点検結果報告書	表示マーク交付（更新）申請書	火気使用設備等設置届出書	電気設備等設置届出書	防火対象物使用開始届出書	
1	イ 劇場等															
	ロ 公会堂等	3	3				4				18					
2	イ キャバレー等															
	ロ 遊技場等															
	ハ 性風俗関連店舗等															
3	イ 待合等															
	ロ 飲食店等	4	4							4	21					3
4	物品販売店等	3	3							1	29					
5	イ 旅館等	2	3				1	1		18	38	1				4
	ロ 共同住宅等	3	3							6	50					1
6	イ 病院等						1				10					
	ロ 社会福祉施設等（入所）	3	3							15	15					
	ハ 社会福祉施設等（通所）	1	1								16					1
7	イ 幼稚園等	1	1								7					
	ロ 学校等	3	3							7	6		1			
8	図書館等	1	1								4					
9	イ 蒸気浴場等															
	ロ 公衆浴場等															
10	停車場等															
11	神社等										1					
12	イ 工場等										3			1		
	ロ スタジオ等															
13	イ 駐車場等															
	ロ 格納庫等															
14	倉庫等										2					
15	事業所等	5	5							5	18			1		3
16	イ 特定複合用途	3	4		2	7				7	55			1		3
	ロ 非特定複合用途等									1	6					1
16項の2	地下街															
16項の3	準地下街															
17	重要文化財等															
18	アーケード															
19	山林															
20	舟車															
その他														3		
合	計	32	34			2	13	1		64	299	1	1	6		16

その他届出状況

令和4年度

月 届出	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
	催物開催届出書												
火災と紛らわしい行為の届出書	5	8	7	2		2	5	11	17	8	5	8	78
煙火打上げ届出書			1	2	2	1							6
道路工事(占用)届出書	4	6	4	10	5	5	9	7	12	7	8	13	90
露店等開設届出書				1	2		1						4

危険物関係届出状況

令和4年度

種別 製造所等の別	少量危険物貯蔵取扱い届出書	少量危険物貯蔵取扱い廃止届出書	危険物保安監督者選任（解任）届出書	危険物貯蔵所（取扱所）変更届出書	危険物製造所等譲渡引渡届出書	危険物製造所等休止届出書	危険物製造所等廃止届出書
屋内貯蔵所							
屋内タンク貯蔵所							
地下タンク貯蔵所				3			
移動タンク貯蔵所							
給油取扱所				2			
第2種販売取扱所							
一般取扱所							2
その他の事業所等							
合計				5			2

火災予防査察実施状況

防火対象物（対象は150㎡以上）

令和4年度

査察実施数			防火対象物数A	査察実施数B	査察実施率B/A %	警告数	命令数
消防法施行令 別表第1の防火対象物							
(1)	ロ	公会堂等	15				
(3)	ロ	飲食店等	20	3	15		
(4)		物品販売店等	29	18	62		
(5)	イ	旅館等	26	9	35		
	ロ	共同住宅等	192				
(6)	イ	病院等	6	4	67		
	ロ	社会福祉施設等（入所）	15	13	87		
	ハ	社会福祉施設等（通所）	10	7	70		
	ニ	幼稚園等	7	7	100		
(7)		学校等	17				
(8)		図書館等	4				
(11)		神社等	17				
(12)	イ	工場等	7				
(13)	イ	駐車場等	4				
(14)		倉庫	11				
(15)		事業所等	47				
(16)	イ	特定複合用途	70	23	33		
	ロ	非特定複合用途等	23				
(17)		重要文化財等	1				
合 計			521	84	16		

危険物施設

令和4年度

査察実施数		危険物施設数A	査察実施数B	査察実施率B/A%	警告数	命令数
危険物施設						
屋内貯蔵所		1	1	100		
屋内タンク貯蔵所		1	1	100		
地下タンク貯蔵所		10	4	40		
移動タンク貯蔵所		1	1	100		
給油取扱所		8	8	100		
第2種販売取扱所		1	1	100		
一般取扱所		8	2	25		
合 計		30	18	60		

危険物施設状況

令和5.4.1現在

区分		貯蔵所等	貯蔵所				取扱所			合計
			屋内	屋内タンク	地下タンク	移動タンク	給油	第2種販売	一般	
類別	第1類									
	第2類									
	第3類									
	第4類		1	1	10	1	8	1	8	30
	第5類									
	第6類									
合計			1	1	10	1	8	1	8	30
数量別	5倍以下		1	1	7	1			2	12
	5倍を超え10倍以下				2		1		6	9
	10倍を超え50倍以下				1		2	1		4
	50倍を超え100倍以下						1			1
	100倍を超え150倍以下									
	150倍を超え200倍以下						1			1
	200倍を超えるもの						3			3
合計			1	1	10	1	8	1	8	30

地区別危険物施設状況

令和5.4.1現在

地区 貯蔵所等		木	上	下	一	堀	長	合
		古 庭	山 口	山 口	色	内	柄	計
屋 内 貯 蔵 所						1		1
屋内タンク貯蔵所						1		1
地下タンク貯蔵所		1	1	1	1	5	1	10
移動タンク貯蔵所							1	1
給 油 取 扱 所		3			2	2	1	8
第2種販売取扱所		1						1
一 般 取 扱 所		1	2	1	3		1	8
合 計		6	3	2	6	9	4	30
少 量 危 険 物		3	11	3	9	7	7	40

地区別危険物貯蔵取扱状況

令和5.4.1現在

地区 類別		木	上	下	一	堀	長	合
		古 庭	山 口	山 口	色	内	柄	計
第4類 (0)	第1石油類	86,000			80,000	6,380	50,000	222,380
	第2石油類	48,956.8	16,078	14,000	70,000	31,070	41,540	221,644.8
	第3石油類	6,000			11,000	56,000	8,000	81,000
	第4石油類							
合 計		140,956.8	16,078	14,000	161,000	93,450	99,540	525,024.8

危険物施設許認可処理状況

令和4年度

貯蔵所等 件数		貯蔵所				取扱所			その他の 事業所等	合 計
		屋内	屋内 タンク	地下 タンク	移動 タンク	給油	第2種 販売	一般		
許 可	変 更			1		1		1		3
	設 置									
完 成 検 査	変 更			1		1		1		3
	設 置									
他 市 へ の 変 更 (移 動 タ ン ク)										
仮 使 用 承 認										
仮 貯 蔵 ・ 仮 取 扱										
完 成 検 査 前 検 査										
予 防 規 程	変 更					2				2
	制 定									

用途別建築同意等事務処理状況

(計画通知は同意に含む)

令和4年度

用途		種別	新	増	改	用途	合
			築	築	築	変更	
1	イ	劇場等					
	ロ	公会堂等					
2	イ	キャバレー等					
	ロ	遊技場等					
	ハ	性風俗関連店舗等					
	ニ	カラオケボックス等					
3	イ	待合等					
	ロ	飲食店等	1	1			2
4		物品販売店等	1				1
5	イ	旅館等	3				3
	ロ	共同住宅等	3				3
6	イ	病院等					
	ロ	社会福祉施設等(入所)					
	ハ	社会福祉施設等(通所)					
	ニ	幼稚園等					
7		学校等					
8		図書館等					
9	イ	蒸気浴場等					
	ロ	公衆浴場等					
10		停車場等					
11		神社等					
12	イ	工場等	1				1
	ロ	スタジオ等					
13	イ	駐車場等					
	ロ	格納庫等					
14		倉庫等					
15		事業所等					
16	イ	特定複合用途	1				1
	ロ	非特定複合用途等	2				2
住	宅	同意	4	1			5
		通知	139	5			144
長		屋	1				1
仮	設	海の	8				8
建	築	設備	4				4
そ		の	5				5
小	計	同意	30	2			32
		通知	143	5			148
合		計	173	7			180

地区別消防同意・確認通知・計画通知状況

令和4年度

区分	地区	木古庭	上山口	下山口	一色	堀内	長柄	合計
消防同意			1	6	4	19	2	32
確認通知		3	4	22	50	27	42	148
計画通知								
合計		3	5	28	54	46	44	180

過去5年間の消防同意・確認通知・計画通知状況

種別	年	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
新築	上段	36	35	19	21	30
	中段	156	159	140	147	143
	下段	1				
増築	上段	1	2		4	2
	中段	1	2	9	6	5
	下段					
改築	上段					
	中段					
	下段					
用途変更	上段	1	3		1	
	中段					
	下段					
小計	上段	38	40	19	26	32
	中段	157	161	149	153	148
	下段	1				
合計		196	201	168	179	180

上段 消防同意によるもの

中段 確認通知によるもの

下段 計画通知によるもの

救 急 関 係



高規格救急自動車

救急概況

救急出場件数単位：件

救急搬送人員単位：人

令和4年中

救 急 出 場 件 数	1,696
救 急 搬 送 人 員	1,589

町内外在住別搬送人員状況

単位：人

令和4年中

町 内 在 住 者	1,294
町 外 在 住 者	293
そ の 他	2
合 計	1,589

傷病程度別搬送人員状況

単位：人

令和4年中

死亡	重症	中等症	軽症	その他	合計
26	89	867	607		1,589

発生日別状況

単位：件

令和4年中

休 日	休日以外	合 計
313	1,383	1,696

救急救命士資格者及び再教育実施状況

単位：人

令和4.12.31現在

救急救命士 (指導救命士)	特定行為認定救命士				再教育
	気管挿管	ビデオ硬性挿管 用喉頭鏡	薬剤投与	拡大2行為	
19 (3)	13	11	19	18	13

・「拡大2行為」とは、心肺機能停止前の重度傷病者に対する静脈路確保及び輸液、血糖測定並びに低血糖発作症例へのブドウ糖溶液の投与をいう。

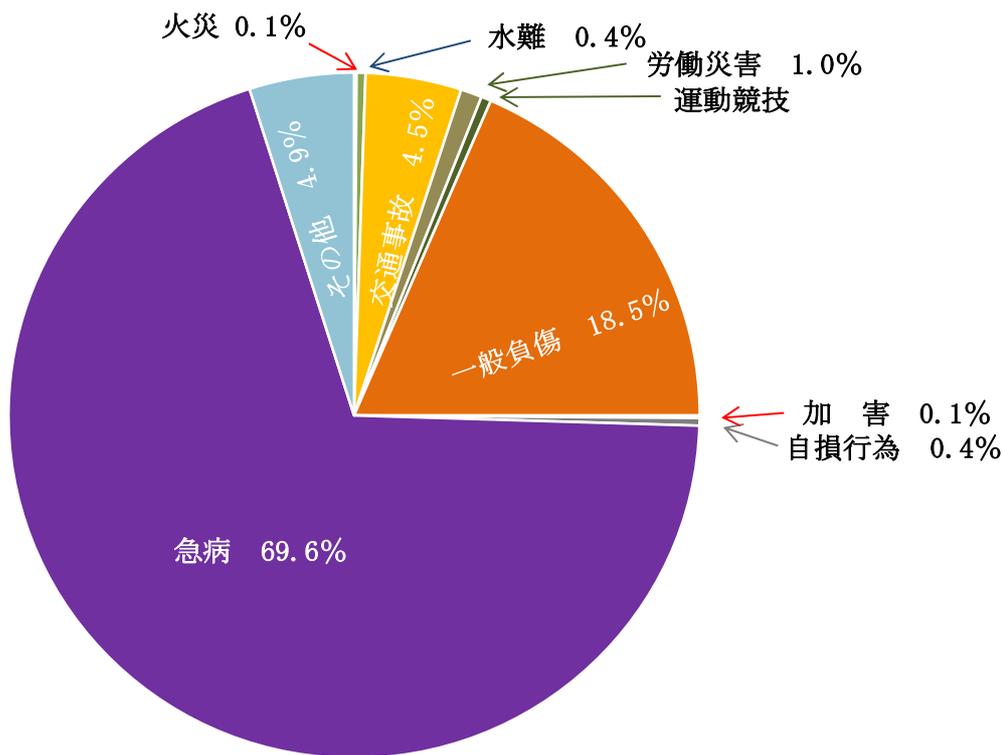
・「再教育」とは、救急業務に従事している者で、2年間で128時間以上(64時間以上の病院実習、32時間の指導救命士による救急隊員に対する教育及び32時間の指定教育プログラム)の教育を修了した者。

救急出場・搬送人員状況

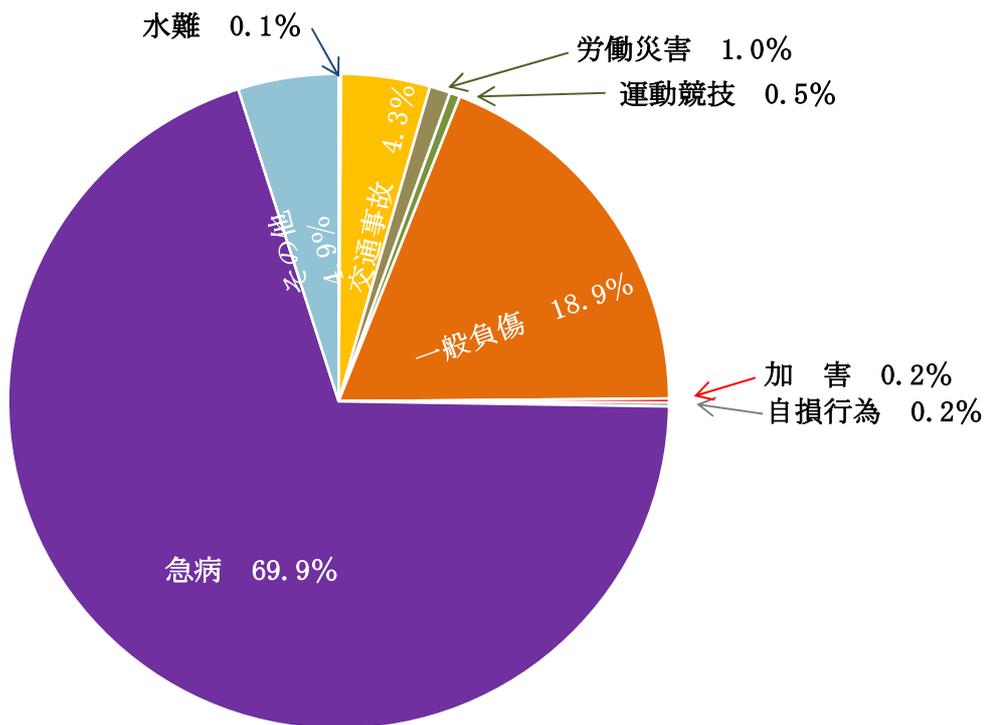
令和4年中

種別 件数/人員	火災	自然災害	水難	交通事故	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	その他	合計
出場件数	2		7	76	17	8	314	2	6	1,181	83	1,696
搬送人員			2	69	16	8	300	3	3	1,110	78	1,589

出場件数



搬送人員



月別救急出場・搬送人員状況

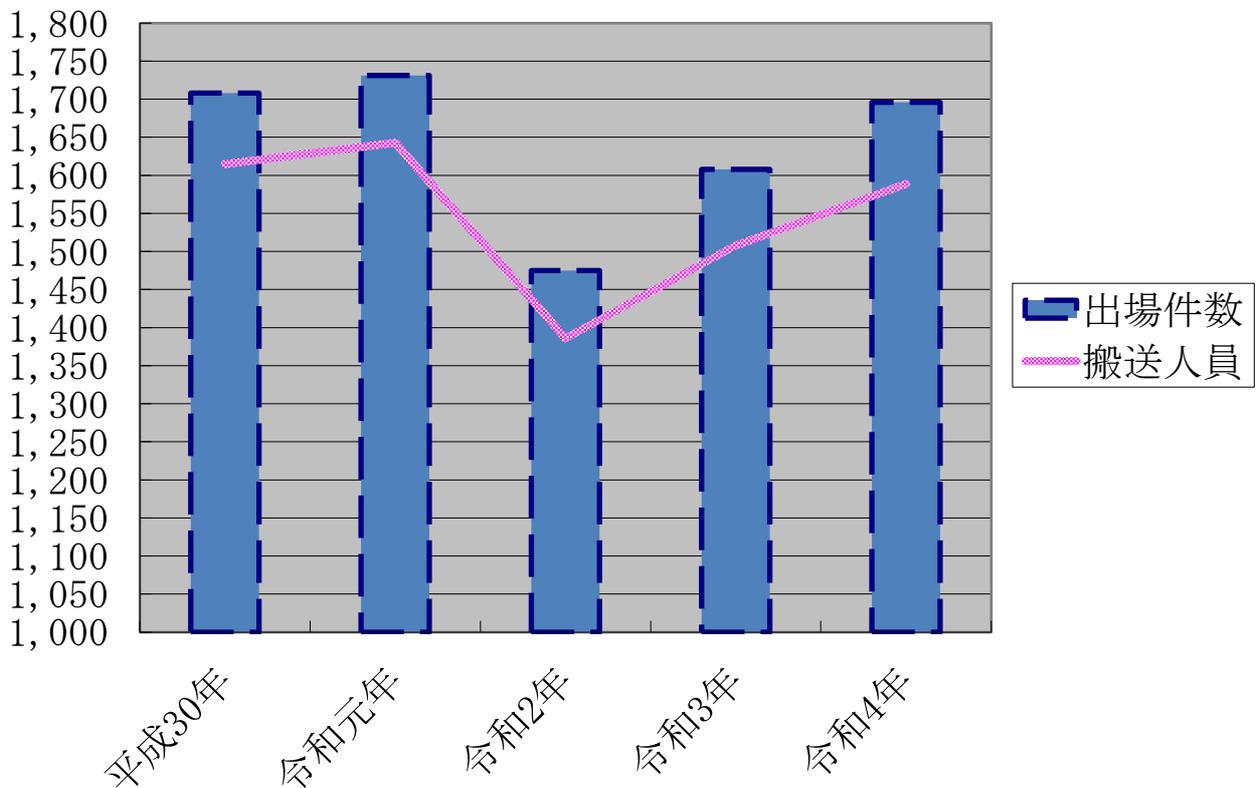
令和4年中

月	種別	火災	自然災害	水難	交通	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	その他	合計	不搬送
	件数/人員													
1	出場件数				5	2	1	30	1	1	95	4	139	12
	搬送人員				4	2	1	29	2		86	4	128	
2	出場件数			1	8			27			82	8	126	4
	搬送人員			1	8			24			81	8	122	
3	出場件数				4	1		25		1	100	11	142	5
	搬送人員				4	1		24		1	96	11	137	
4	出場件数				6	2	1	27		1	82	9	128	7
	搬送人員				5	2	1	25		1	78	9	121	
5	出場件数	1		1	9	3	2	25		1	89	8	139	14
	搬送人員				8	3	2	23			81	8	125	
6	出場件数				6	2		35			97	6	146	10
	搬送人員				6	2		36			87	6	137	
7	出場件数				12	1		21	1	1	129	11	176	11
	搬送人員				10	1		20	1	1	122	10	165	
8	出場件数			1	5	1		35			108	4	154	6
	搬送人員				5	1		33			106	3	148	
9	出場件数			2	3	2	1	16		1	102	2	129	11
	搬送人員			1	3	2	1	16			93	2	118	
10	出場件数				6	3	2	30			97	10	148	13
	搬送人員				6	2	2	27			91	7	135	
11	出場件数			1	4		1	21			102	1	130	8
	搬送人員				3		1	21			96	1	122	
12	出場件数	1		1	8			22			98	9	139	8
	搬送人員				7			22			93	9	131	
合計	出場件数	2		7	76	17	8	314	2	6	1,181	83	1,696	109
	搬送人員			2	69	16	8	300	3	3	1,110	78	1,589	

過去5年間の救急出場・搬送人員状況

年	種別	火災	自然災害	水難	交通	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	その他	合計	不搬送
	件数/人員													
平成30年	出場件数	4	1	11	87	19	9	341	3	6	1,153	74	1,708	97
	搬送人員		1	1	82	19	9	333	3	5	1,088	74	1,615	
令和元年	出場件数	4	2	7	94	16	3	355	4	9	1,150	87	1,731	100
	搬送人員	1	2	4	97	16	3	345	4	6	1,081	84	1,643	
令和2年	出場件数	4		5	73	11	5	289	6	9	963	110	1,475	95
	搬送人員	1		4	72	11	6	277	5	3	899	108	1,386	
令和3年	出場件数	1	1	14	79	20	5	327	2	5	1,063	91	1,608	101
	搬送人員		1	5	72	19	5	311		2	1,002	91	1,508	
令和4年	出場件数	2		7	76	17	8	314	2	6	1,181	83	1,696	109
	搬送人員			2	69	16	8	300	3	3	1,110	78	1,589	

過去5年間の救急出場・搬送人員状況の推移



町内外在住別救急搬送人員状況

令和4年中

種別 在住	火 災	自然 災害	水 難	交 通	労 働 災 害	運 動 競 技	一 般 負 傷	加 害	自 損 行 為	急 病	そ の 他	合 計
町内				34	5	4	240	2	3	963	43	1,294
町外			2	34	11	4	60	1		146	35	293
その他				1						1		2
合計			2	69	16	8	300	3	3	1,110	78	1,589

時間別救急出場状況

令和4年中

種別 時間	火 災	自然 災害	水 難	交 通	労 働 災 害	運 動 競 技	一 般 負 傷	加 害	自 損 行 為	急 病	そ の 他	合 計
0 ~ 2				2			12			55	4	73
2 ~ 4							7			50	3	60
4 ~ 6				5			7			64	1	77
6 ~ 8				8	1		21		1	84		115
8 ~ 10			1	6	2	1	30			135	6	181
10 ~ 12				9	3	2	46		1	156	20	237
12 ~ 14			3	9	5		33			138	10	198
14 ~ 16			2	14	3	4	38		2	111	17	191
16 ~ 18			1	9	3	1	44		1	110	4	173
18 ~ 20	2			11			37			111	12	173
20 ~ 22				2			23	1		100	4	130
22 ~ 24				1			16	1	1	67	2	88
合計	2		7	76	17	8	314	2	6	1,181	83	1,696

曜日別救急出場状況

令和4年中

種別 曜日	火災	自然災害	水難	交通	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	その他	合計
月	2		2	14	7	1	47	1		199	16	289
火			2	13	3		37		3	171	15	244
水				7	1		35		1	165	15	224
木			1	6	4		39		1	143	7	201
金				16	1		50		1	164	14	246
土				14	1	4	54			158	11	242
日			2	6		3	52	1		181	5	250
合計	2		7	76	17	8	314	2	6	1,181	83	1,696

覚知別救急出場状況

令和4年中

種別 覚知	火災	自然災害	水難	交通	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	その他	合計
119番	1		6	72	17	8	307	2	5	1,156	81	1,655
加入				2			6			14	2	24
駆けつけ				1						6		7
その他	1		1	1			1		1	5		10
合計	2		7	76	17	8	314	2	6	1,181	83	1,696

地区別救急出場状況

令和4年中

種別 地区	火災	自然災害	水難	交通	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	その他	合計
木古庭				6	5		31		1	81	3	127
上山口	1			10	2		26			111	1	151
下山口			1	1	2		16			70	45	135
一色			2	20	5	3	90	1		295	13	429
堀内			4	14	2	3	86	1	3	341	17	471
長柄	1			22	1	2	59		2	270	3	360
町外				3			6			13	1	23
合計	2		7	76	17	8	314	2	6	1,181	83	1,696

年齢区分・傷病程度別救急搬送人員状況

令和4年中

年齢区分	種別	火災	自然災害	水難	交通	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	その他	合計
	傷病程度												
新生児	死亡												
	重症												
	中等症												
	軽症												
	その他												
	合計												
乳幼児	死亡												
	重症												
	中等症										4	2	6
	軽症							16			30		46
	その他												
	合計							16			34	2	52
少年	死亡												
	重症										1		1
	中等症				3			2			5	1	11
	軽症				1		4	5	2		13		25
	その他												
	合計				4		4	7	2		19	1	37
成人	死亡										3		3
	重症			1	1					1	13	5	21
	中等症				22	6	2	20		1	139	12	202
	軽症			1	31	3	2	38	1		119	6	201
	その他												
	合計			2	54	9	4	58	1	2	274	23	427
高齢者	死亡										23		23
	重症							6			58	3	67
	中等症				3	5		124		1	469	46	648
	軽症				8	2		89			233	3	335
	その他												
	合計				11	7		219		1	783	52	1,073
合計	死亡										26		26
	重症			1	1			6		1	72	8	89
	中等症				28	11	2	146		2	617	61	867
	軽症			1	40	5	6	148	3		395	9	607
	その他												
	合計			2	69	16	8	300	3	3	1,110	78	1,589

救急隊員の行った応急処置

令和4年中

種別 応急処置	急	交	一	そ	合
	病	通	般	の	計
	負	傷	他		
応急処置対象人員	1,110	69	300	110	1,589
止血	11	1	22	3	37
固定	14	49	109	10	182
人工呼吸	21			2	23
心マッサージ	3				3
うち自動	3				3
心肺蘇生	31			1	32
うち自動	21				21
酸素吸入	246	1	14	26	287
気道確保	53			2	55
うち経鼻エアウェイ	4				4
うち喉頭鏡・鉗子等使用	2				2
うちラリング・アルマスク等使用	18				18
気管挿管	3				3
保温	749	47	199	79	1,074
被覆	14	29	99	9	151
在宅療法継続	19		1	1	21
A 点滴				1	1
B 外傷	2				2
C その他	17		1		18
除細動	6				6
薬剤投与	12			1	13
その他の応急処置	1,106	68	299	109	1,582
血圧測定	1,066	69	292	109	1,536
聴診器	709	46	126	62	943
血中酸素飽和度測定	1,078	69	300	110	1,557
心電図	914	38	182	78	1,212
うち伝送					
静脈路確保	24			1	25
うちCPA前	3		1		4
血糖測定	11				11
エピペン投与					
ブドウ糖投与	1				1

収容状況

令和4年中

種別 収容先		火災	自然災害	水難	交通	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	その他	搬送人員
		町内医療機関			1	7	1		39			220	9
町外医療機関	逗子市				1		1	3			2		7
	横須賀市			1	49	11	4	178	2	3	557	26	831
	鎌倉市				9	1	2	67	1		240	37	357
	横浜市				3	3	1	13			89	5	114
	その他										2	1	3
合計				2	69	16	8	300	3	3	1,110	78	1,589

医療機関紹介状況

令和4年中

紹介先	管内当番医療機関	当番以外の 管内医療機関	その他の医療機関	合計
件数	59		238	297

応急手当普及啓発活動実施状況

令和4年中

講習	実施要綱に基づく普及講習		その他の講習	合計
	普通救命講習	上級救命講習		
実施回数	26	1	2	29
受講人数	166	4	44	214

救 助 関 係



葉山町消防署救助訓練会

救助概況

令和4年中

区分	種別	火災		交通事故	水難事故	風水害等	自然災害	機械による事故	建物等に	よる事故	ガス及び	酸欠事故	破裂事故	その他の事故	合計
		建物	建物以外												
	出場件数	2		1	7				5					7	22
	活動件数	1			2				4					7	14
	救助人員				8				3					8	19
	出場延人員	76		11	71				32					68	258

救助出場人員・活動人員状況

令和4年中

区分	種別	火災		交通事故	水難事故	風水害等	自然災害	機械による事故	建物等に	よる事故	ガス及び	酸欠事故	破裂事故	その他の事故	合計
		建物	建物以外												
出場人員	救助隊員	8		4	28				14					30	84
	消防隊員	10		4	22				3					17	56
	救急隊員	6		3	21				15					21	66
	消防団員	52													52
	合計	76		11	71				32					68	258
活動人員	救助隊員	4			6				12					28	50
	消防隊員	6			5				3					17	31
	救急隊員	3			6				9					15	33
	消防団員	24													24
	合計	37			17				24					60	138

発生場所別救助人員状況

令和4年中

区分	種別	火災		交通事故	水難事故	風水害等	自然災害	機械による事故	建物等に	よる事故	ガス及び	酸欠事故	破裂事故	その他の事故	合計
		建物	建物以外												
屋内	住居								3					1	4
	その他の屋内														
屋外	道路	高速道路													
		その他の道路													
	水面	内水面													
		外水面				7									7
	山岳														
その他の屋外				1									7	8	
地下															
その他															
合計					8				3					8	19

救助出場車両・活動車両状況

令和4年中

区分	種別	火 災		交通 事故	水 難 事 故	風 水 害 等	自 然 災 害	機 械 に よ る 事 故	建 物 等 に よ る 事 故	ガ ス 及 び 酸 欠 事 故	破 裂 事 故	そ の 他 の 事 故	合 計	
		建 物	建 物 以 外											
出場 車両 等	救助工作車			1					4			5	10	
	消防ポンプ自動車	4		1	7				3			6	21	
	救急自動車	2		2	12				5			9	30	
	その他	3			7				1			4	15	
	消防団車両	6												6
	合 計	15		4	26				13				24	82
活動 車両 等	救助工作車								3			4	7	
	消防ポンプ自動車	2			2				3			6	13	
	救急自動車	1			3				3			7	14	
	その他	2			2				1			4	9	
	消防団車両	4											4	
	合 計	9			7				10				21	47

発生場所別救助出場（活動）状況

令和4年中

区分	種別	火 災		交通 事故	水 難 事 故	風 水 害 等	自 然 災 害	機 械 に よ る 事 故	建 物 等 に よ る 事 故	ガ ス 及 び 酸 欠 事 故	破 裂 事 故	そ の 他 の 事 故	合 計	
		建 物	建 物 以 外											
屋内	住 居								5 (4)			1 (1)	6 (5)	
	その他の屋内	2 (1)											2 (1)	
屋外	道 路	高速道路												
		その他の道路			1 (0)									1 (0)
	水 面	内 水 面												
		外 水 面				6 (1)								6 (1)
	山 岳													
その他の屋外				1 (1)								6 (6)	7 (7)	
地 下														
そ の 他														
合 計		2 (1)		1 (0)	7 (2)				5 (4)			7 (7)	22(14)	

() 内は活動件数を表す

時間別救助出場（活動）状況

令和4年中

種別 区分	火 災		交 通 事 故	水 難 事 故	風 自然 水 災 害 害 等 害	機 械 に よ る 事 故	建 物 等 に よ る 事 故	ガ ス 及 び	酸 欠 事 故	破 裂 事 故	そ の 事 他 故	合 計
	建 物	建 物 以 外										
0 ~ 2												
2 ~ 4												
4 ~ 6												
6 ~ 8												
8 ~ 10				2 (1)								2 (1)
10 ~ 12			1 (0)				1 (1)				3 (3)	5 (4)
12 ~ 14				2 (1)			1 (1)					3 (2)
14 ~ 16				2 (0)							2 (2)	4 (2)
16 ~ 18				1 (0)			1 (1)					2 (1)
18 ~ 20	2 (1)											2 (1)
20 ~ 22							2 (1)				1 (1)	3 (2)
22 ~ 24											1 (1)	1 (1)
合 計	2 (1)		1 (0)	7 (2)			5 (4)				7 (7)	22(14)

() 内は活動件数を表す

地区別救助出場状況

令和4年中

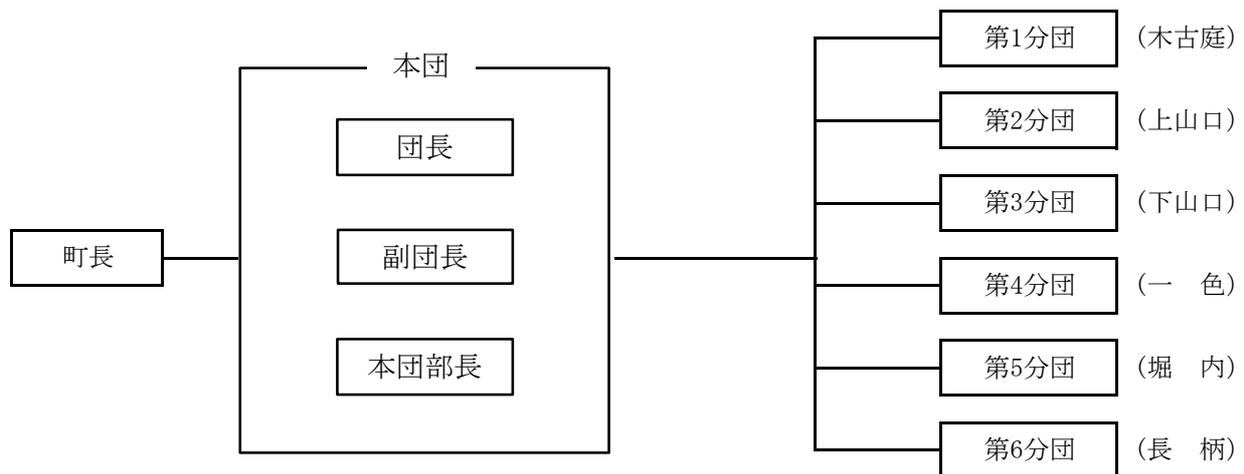
種別 区分	火 災		交 通 事 故	水 難 事 故	風 自然 水 災 害 害 等 害	機 械 に よ る 事 故	建 物 等 に よ る 事 故	ガ ス 及 び	酸 欠 事 故	破 裂 事 故	そ の 事 他 故	合 計
	建 物	建 物 以 外										
木 古 庭												
上 山 口	1											1
下 山 口				1								1
一 色				1			1				4	6
堀 内				5			3				1	9
長 柄	1		1				1				2	5
町 外												
合 計	2		1	7			5				7	22

消 防 団 関 係



神奈川県消防操法大会

消防団組織図



消防団員定員・実員

令和5.4.1現在

消防団数	分団数	本 団					分 団					合 計
		役職	団 長	副 団 長	本 団 部 長	分 団 長	副 分 団 長	部 長	班 長	団 員		
		階級	団 長	副 団 長	本 団 部 長	分 団 長	副 分 団 長	部 長	班 長	団 員		
1	6	定員	1	2	6	6	6	12	24	141	198	
		実員	1	2	3	6	6	12	24	102	156	

消防団員報酬

令和5.4.1現在

階 級	団 長	副 団 長	分 団 長	副 分 団 長	部 長	班 長	団 員	技 術 員
年 額	92,000	72,000	56,000	47,000	38,000	37,000	36,500	23,000

消防団員出動費用弁償

令和5.4.1現在

区 分	1回あたりの金額	摘 要
災 害 出 場 (4 時 間 未 満)	4,000円	日をまたぐ出動の場合は、暦日を1日とし、連続する出動時間の合計により区分を適用する。
災 害 出 場 (4 時 間 以 上)	8,000円	
警 戒 出 場	3,000円	
訓 練 出 場	3,000円	

消防団詰所所在地

令和5.4.1現在

区分 分団	住 所	構 造	階 数	敷地面積 (m^2)	延面積 (m^2)	完成 年月 日
第1分団	木古庭 606番地の1	鉄骨造	2	217.17	177.49	平成2年11月13日
第2分団	上山口 2405番地の3	鉄骨造	2	207.60	117.75	平成11年3月26日
第3分団 (複合施設用途)	下山口 1705番地の1	鉄骨造	1	679.61	85.05	平成9年11月28日
第4分団	一色 1503番地の3	鉄骨造	2	337.00	123.41	平成13年3月27日
第5分団	堀内 774番地の1	鉄骨造	2	311.40	113.96	平成15年3月17日
第6分団	長柄 488番地の3	鉄骨造	1	756.00	122.42	平成29年3月31日

消防団員配置

令和5.4.1現在

階級 分団	団 長	副 団 長	分 団 長	副 分 団 長	部 長	班 長	団 員	合 計
本 団	1	2			3			6
第1分団			1	1	2	4	17	25
第2分団			1	1	2	4	14	22
第3分団			1	1	2	4	12	20
第4分団			1	1	2	4	15	23
第5分団			1	1	2	4	21	29
第6分団			1	1	2	4	23	31
合 計	1	2	6	6	15	24	102	156

消防団員年齢

令和5.4.1現在

階級 年齢	団 長	副 団 長	分 団 長	副 分 団 長	部 長	班 長	団 員	合 計
18 ~ 24							12	12
25 ~ 29							5	5
30 ~ 34							10	10
35 ~ 39					1	5	11	17
40 ~ 44			1	2	2	4	26	35
45 ~ 49			3	3	7	5	18	36
50 ~ 54			2	1	4	5	11	23
55 ~ 59					1	3	6	10
60 ~ 64	1	2				2	3	8
65 歳 以 上								
合 計	1	2	6	6	15	24	102	156
平 均 年 齡	61	63	48	45	47	47	40	

消防団員勤続年数

令和5.4.1現在

年数	分団							
	本 団	第 1 分 団	第 2 分 団	第 3 分 団	第 4 分 団	第 5 分 団	第 6 分 団	合 計
5年未満		1	2	3	8	5	10	29
5年以上10年未満		5	2	6	1	10	4	28
10年以上15年未満		7	9	6	5	5	7	39
15年以上20年未満	2	3	6	3	7	6	6	33
20年以上25年未満	1	1	3	1	2	3	1	12
25年以上30年未満	2	4					3	9
30年以上	1	4		1				6
合 計	6	25	22	20	23	29	31	156

消防団出場状況

令和4年度

出場	分団								
	回 数 人 員	本 団	第 1 分 団	第 2 分 団	第 3 分 団	第 4 分 団	第 5 分 団	第 6 分 団	合 計
火災	回数	5	1	1	2	2	2	2	15
	人員	15	10	16	19	22	19	34	135
訓練	回数	33	28	21	35	33	32	46	228
	人員	81	68	62	80	83	73	225	672
警戒	回数	2	10	7	6	10	12	7	54
	人員	11	65	55	55	85	95	70	436
風水害	回数								0
	人員								0
その他	回数								0
	人員								0
合 計	延回数	40	39	29	43	45	46	55	297
	延人員	107	143	133	154	190	187	329	1,243

消防団現有車両機械

令和5.4.1現在

区分 分団	配置車両	車両 会社名	年式	登録 年月日	原 動 機 ポ ン プ				
					エンジン 社 名	気筒容積 (CC)	ポンプ 社 名	ポンプ 型 式	ポンプ 級 別
第1分団	消防ポンプ 自動車	トヨタ	令和 5年	令和5年 3月8日	トヨタ	1,990	モリタ	MZI	A-2
	資機材 搬送車	日産	平成 29年	平成29年 12月5日	日産	650			
	小型 動力ポンプ		平成 27年	平成27年 6月23日	トーハツ	209	トーハツ	VF21BS	C-1
第2分団	消防ポンプ 自動車	日野	平成 17年	平成17年 10月20日	日野	4,000	G M いちほら	GM2H2	A-2
	小型動力ポンプ 付積載車	ダイハツ	平成 26年	平成26年 3月17日	ダイハツ	650	トーハツ H26年式 526CC	VF63AS	B-2
第3分団	消防ポンプ 自動車	日野	平成 20年	平成20年 10月16日	日野	4,000	G M いちほら	GM2H2	A-2
	資機材 搬送車	日産	平成 28年	平成28年 12月9日	日産	650			
	小型 動力ポンプ		平成 26年	平成26年 9月16日	トーハツ	209	トーハツ	VF21BS	C-1
第4分団	消防ポンプ 自動車	トヨタ	令和 2年	令和2年 2月12日	トヨタ	2,980	モリタ	MZI	A-2
	小型動力ポンプ 付積載車	スバル	平成 20年	平成20年 10月30日	スバル	650	トーハツ H27年式 209CC	VF21BS	C-1
第5分団	消防ポンプ 自動車	日野	平成 22年	平成22年 3月19日	日野	4,000	G M いちほら	GM2H2	A-2
	小型動力ポンプ 付積載車	ダイハツ	平成 22年	平成22年 12月2日	ダイハツ	650	トーハツ H22年式 526CC	VF63AS	B-2
第6分団	消防ポンプ 自動車	日野	平成 21年	平成21年 10月15日	日野	4,000	G M いちほら	GM2H2	A-2
	資機材 搬送車	日産	平成 30年	平成30年 11月26日	日産	650			
	小型 動力ポンプ		平成 27年	平成27年 6月23日	トーハツ	209	トーハツ	VF21BS	C-1
予備	消防ポンプ 自動車	三菱	平成 15年	平成15年 11月18日	三菱	5,240	G M いちほら	GM2H2	A-2

消防団備品配置

令和5.4.1現在

分団 備品	合 計	本 団	第 1 分 団	第 2 分 団	第 3 分 団	第 4 分 団	第 5 分 団	第 6 分 団
消 防 ポ ン プ 自 動 車	6		1	1	1	1	1	1
小 型 動 力 ポ ン プ	3		1		1			1
小 型 動 力 ポ ン プ 付 積 載 車	3			1		1	1	
資 機 材 搬 送 車	3		1		1			1
制 服	156	6	25	22	20	23	29	31
活 動 服	156	6	25	22	20	23	29	31
安 全 帽	157	6	19	20	30	20	36	26
救 助 用 半 長 靴	156	6	25	22	20	23	29	31
防 火 衣	135	6	24	20	25	20	20	20
防 火 帽	146	6	33	20	27	20	20	20
デ ジ タ ル 簡 易 無 線 機	65	15	8	8	8	8	10	8
特 定 小 電 力 無 線 機	33	3	5	5	5	5	5	5
ホ ー ス (5 0 mm)	240		38	43	39	40	38	42
応 急 処 置 用 セ ッ ト	6		1	1	1	1	1	1
担 架	8		1	3	1	1	1	1
エ ン ジ ン カ ッ タ ー	6		1	1	1	1	1	1
チ ェ ー ン ソ ー	13		2	2	2	3	2	2
バ ー ル	13		2	2	2	3	2	2
拡 声 器	10		1	1	3	3	1	1
発 動 発 電 機	10		1	2	2	2	1	2
投 光 機	14		2	2	2	4	2	2
救 命 ボ ー ト	1	1						
救 命 胴 衣	90		10	10	20	20	20	10
大 型 テ ン ト	1	1						

令和5年版消防年報

編集・発行 葉山町消防本部

〒240-0112

神奈川県三浦郡葉山町堀内2050番地の10

TEL 046(876)0119 FAX 046(876)1263